

令和 5 年度 第 2 回金沢市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会

日時：令和 5 年 7 月 25 日（火）13:00～17:00

場所：金沢市役所第二本庁舎 2202 会議室

1. 開会

（事務局） 定刻より少し前ですが、全員お集まりなので始めさせていただきます。委員の皆さま、本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。ただ今より第 2 回金沢市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会を開催いたします。

初めに、野口弘教育長が開会の挨拶を申し上げます。

（教育長） 皆さん、こんにちは。大変ご多用の中を、第 2 回目の選定委員会にご出席を賜りました。ありがとうございます。梅雨が明けてから随分暑い日が続いています。

今日は限られた時間になりますが、これから選定委員会としてのご議論を賜りたいと思います。6 月 1 日に第 1 回目の選定委員会を開催させていただきました。その折には教育委員会の方から諮問させていただき、52 名のさまざまな教科の先生方に専門性のお立場から調査研究を行っていただきました。

併せて各小学校におきましても、全ての小学校の先生方にも、それぞれ巡回になりましたが教科書を見ていただきました。それから市民の方々にも見ていただきました。そのお声も届いています。1 カ月がたちました。調査委員会の方からの報告、研究委員会の方からの報告、そして市民の方々からの声も届いていますので、それらを基にしながら、今日は、金沢市の小学生にとってふさわしい教科書の選定に向けて、さまざまなご議論の上、ご示唆を頂戴したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

（事務局） まず、本日の資料を確認させていただきます。一つ目、第 2 回、第 3 回の選定委員会次第。二つ目、資料 A「教科用図書調査委員会 調査研究報告書」。三つ目、資料 B「各小学校における教科用図書研究委員会 調査研究報告書」。四つ目、資料 C「教科書展示会に寄せられた市民の意見のまとめ（常設展示場・金沢市教育プラザ富樫、移動展示場・金沢市立小学校 32 校）」。五つ目、資料 D「教科書採択に係る要望書等」、以上五つとなっております。ご確認ください。併せて、事前に配布させていただきました教科書編修趣意書や学習指導要領解説、石川県教科用図書選定資料等も参考資料としてご用意いただければと思っています。資料の過不足等はございませんでしょうか。

なお、本日の資料は選定委員会の性格上、明日の第 3 回選定委員会終了後に全て回収させていただきます。資料につきましても、明日の第 3 回選定委員会にてそのままお使いいただけるよう準備させていただきますので、メモ等を取っていただいてもかまいません。

また第 1 回選定委員会でもお伝えしたとおり、教科書採択に関わる情報については、審議中は非公開となっております。採択決定後は選定委員名と採択結果、採択理由、調査資料、選定委員会の議事録について公開する予定となっております。このため、本会議におきましては会議録作成のため録音させていただきますことをご了承ください。

それでは、この後の議事進行を松原委員長にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

（選定委員長） 皆さん、こんにちは。今回は令和 6 年度から令和 9 年度までの 4 年間使用する小学校教科用図書の採択になります。金沢市の小学生にとって最も適切な教科書が採択されますように答申を行いたいと思います。委員の皆さま、よろしくお願いいたします。

それでは、資料 2 の次第に沿って進めてまいりたいと思います。初めに事務局より、これまでの経緯や本日の資料の見方について説明していただきたいと思います。

（学校指導課長） 本日の選定委員会に至る経緯について報告させていただきます。資料

の2ページをご覧ください。

まず最初に、採択の経緯についてご説明させていただきます。6月1日の第1回選定委員会を受けまして、6月6日に第1回調査委員会を開催いたしました。その折に、調査委員の皆さまには教科書を持ち帰っていただき、調査研究を進めていただきました。約4週間の調査研究期間を経て、7月4日に第2回調査委員会を開催いたしました。それまでの調査研究の結果を、資料Aの調査研究報告書としてまとめていただきました。

また、金沢市立小学校54校1分校にもそれぞれ研究委員会を立ち上げ、調査していただきました。その調査研究の結果をまとめたものが、資料Bの調査研究報告書でございます。

さらに、各小学校の調査研究のため、市民・保護者の方々に教科書を見ていただくために教科書展示会を開催いたしました。金沢市教育プラザ富樫において6月12日から6月29日までの18日間、常設展示を行うとともに、金沢市立小学校の32校においては6月8日から6月29日まで、各校4日間ずつ移動展示を行いました。なお、石川県では6月14日から6月27日を教科書展示期間としまして、金沢市内では金沢市教育プラザ富樫のほか、石川県教員総合研修センター、ならびに石川県立図書館に教科書を展示しておりました。これらの展示会におきましては、意見箱を設置し、広く市民や保護者の方々にも閲覧していただくとともに、意見を寄せていただいております。

資料の3ページをご覧ください。金沢市の教科書展示会に訪れた人数を載せています。期間中、教育プラザには一般の方々が50名来てくださいました。教職員等も合わせますとプラザでは138名の方が教科書をご覧になりました。各学校での移動展示には、一般の方が45名、教職員等を合わせますと600名の方が教科書をご覧になりました。両展示場を合わせますと、一般の方が95名、教職員等を合わせると738名の方が教科書をご覧になったということになります。

続いて、本日配付しました資料の内容についてご説明申し上げます。資料4ページとファイルの資料Aをご覧ください。資料Aの「教科用図書調査委員会 調査研究報告書」は、教科用図書調査委員会が作成した報告書です。第1回選定委員会でお示ししたとおり、金沢市の採択方針に基づき、「英語」と「特別の教科 道徳」以外の小学校用教科書については、九つの調査研究項目において調査を行い、「英語」については十の調査研究項目、「特別の教科 道徳」については七つの調査研究項目で調査研究した結果の報告書となっております。

発行者は、左から発行者番号順に略称で掲載してあります。それぞれのマスには発行者の優れた点が記されております。これらの資料は、教科用図書調査委員会が約4週間にわたって綿密に調査研究を実施して作成した報告書となります。

資料Bをご覧ください。こちらは「各小学校における教科用図書研究委員会 調査研究報告書」です。金沢市立小学校54校1分校全てで調査研究を行い、各発行者の優れた点を中心に挙げていただき、それを事務局で取りまとめたものです。

各項目の右側の数字は、類似した意見の数となっており、四角内の数字は、優れているという意見のあった合計数を記載してあります。ご覧いただく際には、合計数とともに、各学校の先生方がそれぞれの教科書についてどのような点が優れていると感じているのか、それぞれの教科書の特徴をどのように捉えているのかという視点で参考にしていただければと思います。

また資料Bの14ページをご覧ください。こちらは資料Bの別紙として、優れている点以外についてご意見のあったものをまとめたものです。こちらもお覧おきください。

続いて、資料Cをご覧ください。こちらは、教科書展示会に寄せられた市民の意見をまとめた資料となります。ご意見・ご感想がプラザでは42枚、移動展示場には31枚寄せられました。それらをまとめたものが資料Cとなります。発行者に関するご意見等もありません。

また、各種目について審議する際には、事務局より資料Bや資料Cの内容の説明をさせていただきます。市民や保護者の意見として参考にしていただければと思います。

資料Dは、各団体等から教育委員会に提出されております、教科書採択に係る要望書等についてです。

最後に、先ほど事務局からもありましたが、石川県教科用図書選定資料も置かせていただいています。これは、参考資料として石川県教育委員会が作成し、教科書採択のための指導・助言・援助として金沢市に送付されてきたものです。発行者ごとに特徴・特記すべき事項が書かれています。こちらの資料についても、審議の際に参考にしていただければと思います。

以上です。

(選定委員長) ありがとうございます。ただ今の報告に対しまして質問等がありましたらお伺いしたいと思いますが、委員の皆さん、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。では、次に進めさせていただきます。

それでは、この後の審議の進め方を提案させていただきます。初めに教科用図書調査委員会の委員長から、教科書を使いながら調査研究報告書 A の説明をしていただきます。ここは、教科書を提示していただきながらということになります。印などを付けてお聞きいただければと思います。説明を聞いて、不明な点や説明を求めたい部分がありましたら、質問してください。質問の後、調査委員長には一度退席させていただきます。

続いて、資料 B と資料 C、必要に応じて資料 D について、事務局より報告していただきます。その際、委員の皆さまには、県の選定資料などにつきましても併せてご覧いただければと思います。

その後、選定委員のわれわれが、調査委員会からの報告書(資料 A)や各学校における研究報告書(資料 B)、教科書展示会における市民や保護者の意見(資料 C)を踏まえ、各発行者の教科書がどういう評価をされたか、その評価が妥当かどうかを確認し、審議を行いたいと思います。審議の中で調査委員長に確認したいこと等がありましたら、再度調査委員長に入ってください。質問や説明を求めることができます。

先ほどの事務局の説明にもありましたが、審議の際にはこれらの資料の中でも、教科用図書調査委員会が約 1 カ月にわたって綿密に調査研究を実施して作成された資料 A の報告書を中心に審議を行い、選定委員会として付け加えたらよいと考える意見や修正・削除したらよいと考える意見も出していただいで、修正していきたいと思っています。このようにして教育委員会に提出する答申書を作成していきたいと思っています。その際、特に意見がなかった内容については、そのまま答申書に記載していきたいと思っています。このような進め方でよろしいでしょうか。

<異議なし>

(選定委員長) また答申書につきましては、調査委員会の報告書を参考に、選定委員の方々のご意見も加えまして、ここで議論されたことなども含めて少し口頭では報告したいと思うのですが、全ての発行者について特徴等をまとめたものを本選定委員会の答申として作成したいと考えております。文面については、本選定委員会の記録を基に委員会終了後、私、委員長と副委員長が責任を持って内容を吟味し、事務局に作成を依頼したいと思います。詳細な内容については私、委員長に一任ということでよろしいでしょうか。

<異議なし>

(選定委員長) ありがとうございます。確認をさせていただきました。

なお、教育委員会での説明の際、先ほども申しましたが、本選定委員会での審議を踏まえて、評価の高い発行者について答申書を基に説明を行うことにしておりますので、調査委員会の報告書、研究委員会の報告書、市民の意見等を踏まえて、ご自身の調査結果について率直な意見をお願いしたいと思います。文面では十分に表現できない、こういう議論があったというような報告は、私の方でも極力口頭で、教育委員会での審議される時にご報告させていただければと思っています。

そのように進めたいと思いますが、何かご質問やご意見はございますか。よろしいでし

ようか。では、そのように進めさせていただきたいと思います。

2. 説明・審議

(選定委員長) それでは早速審議に移りたいと思います。本日は、次第にもありますように保健から順に7種目について審議する予定です。

まずは「保健」についてです。調査委員長に入っていたきたいと思います。

①保健

<調査委員入室>

(選定委員長) それでは調査委員長、説明をお願いいたします。

(保健調査委員長) ただ今より、教科・体育科、種目・保健の教科書の調査結果についてご報告いたします。保健は、6者の発行者について調査しました。調査研究項目は九つありますが、その中でもそれぞれの特に優れた項目を中心にご報告いたします。各者、ページが多岐にわたりますが、どうぞよろしくお願いたします。

それでは、東京書籍から順に説明します。東京書籍に関しては、調査研究項目7についてご説明します。3・4年生の教科書の6～12ページ、併せて5・6年生の教科書の4～8ページをご覧ください。東京書籍では、1時間の学習の流れが「気づく・見つける」「調べる・解決する」、「深める・伝える」、「まとめる・生かす」の四つのステップで構成されています。ステップ1には自分たちの生活を想起させるような大きな写真が、ステップ2・3には多彩なイラストが掲載され、実生活やこれまでの経験と関連付けながら、児童に思考を促したり、友達と話し合ったりできるように工夫されています。また、これは調査研究項目1とも関連しますが、重要語句が分かりやすく太字で示されるとともに、ステップ4には学習内容を確認するためのワークシートが必ず用意されています。加えて3・4年生の教科書の12ページの中ほどにあります、「スキル」というマークが付いた箇所が随所にあります。そこでは生活に役立つスキルが写真やイラストとともに紹介され、知識および技能の確実な習得が図られるよう工夫されています。

引き続きまして、大日本図書についてご説明します。大日本図書に関しては、調査研究項目6についてご説明します。3・4年生の教科書の14ページをご覧ください。また5・6年生の教科書の37ページもご覧ください。大日本図書では、言葉を詳しく説明する「ワード」というマークや、役立つ知識を紹介する「ミニ知識」のマーク等、教科書の中にさまざまなマークが使われています。この中に、他学年の保健の学習内容等の関連を示す「ほけん」というマーク、あるいは中学校の保健体育との関連を示す「中学校」というマークがあります。このマークを掲載することにより、学年相互間および小・中学校での学習の関連を指導者自身が意識し、保健の学習内容を系統的に教えることができるように配慮されています。

続いて、大修館書店についてご説明します。大修館書店に関しては、調査研究項目8についてご説明します。3・4年生の教科書の42、43ページをご覧ください。また5・6年生の教科書の11ページも併せてご覧ください。大修館書店では、ボールなどの身近な用具を使って行える運動遊びや、ダンスや長縄跳びなど友達と一緒にやる運動遊びといった、日常生活の中で簡単にできる運動遊びの例がイラストを交えて分かりやすく紹介されています。また、肘や腰の痛みといったスポーツ障害についても説明があり、安全な運動の行い方を学習しながら、本市の健康課題の一つである「体力の増進」が図られるよう内容が工夫されています。またこれは、中学校の部活動にも関連する内容といえます。加えて、高学年の教科書の11ページにあるような「体育の窓」というコーナーが随所にあり、運動と骨や筋肉の成長の関係、運動の経験と心の発達の関係、運動による生活習慣病の予防など、体育の学習で学んだ運動と保健の学習内容とを関連付けて学習できるように考慮されてい

ます。

続きまして、文教社についてご説明します。文教社に関しては、調査研究項目 3 についてご説明します。3・4 年生の教科書の 19 ページをご覧ください。また、併せて 5・6 年生の教科書の 19 ページもご覧ください。文教社では全ての単元の最後に、「わたしのけんこうせん言」「わたしのスッキリせん言」といった自己宣言のページが設けられています。このページには、自分の宣言とその理由、友達からのメッセージを書くことができるようになっています。学習したことを生かし、自分が取り組みたいことや頑張りたいことを言葉として表現することで、学習したことと日常生活をより強く結び付けられるとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指した生活の意識が高まるように工夫されています。

続きまして、光文書院についてご説明します。光文書院に関しては、調査研究項目 6 についてご説明します。3・4 年生の教科書の 12、13 ページをご覧ください。光文書院では、ページの下の部分に「まめちしき」として、学習内容を補足するような知識や生活に役立つ情報が掲載されており、学習内容をより詳しく学んだり、生活に生かしたりできるように配慮されています。また、1 ページ前の 11 ページにあるように、同じようにページの下の部分に「ほけん」というマークで、他学年で学習する内容との関連も示されています。

最後に、学研みらいについてご報告します。学研みらいに関しては、調査研究項目 2 についてご説明します。5・6 年生の教科書の 54～57 ページをご覧ください。学研みらいでは、1 時間の学習が三つの活動で展開されるように構成されています。三つの学習活動は単元によって違い、ご覧になられている「病原体と病気」の単元では、「ふり返る」「話し合う・整理する」「学びを生かす」で展開されます。その三つの活動それぞれに記述欄が設けられており、選んだ理由や考えたこと、友達と話し合ったことなどをすぐ書くことができるようになっています。また調査研究項目 1 に関連することですが、確実な知識の習得のために、55 ページにある「ことば」というマークを使って、難しい言葉の解説も行っています。

以上で各者の優れている点を中心に報告させていただきました。

(選定委員長) ありがとうございます。それでは委員の皆さまからご質問等がございましたら、お願いいたします。

(選定副委員長) 小学校体育科の目標、柱書に、体育科だけだと思うのですが、課題を見つけること、「体育や保健の見方・考え方を働かせて課題を見つける」とありますし、思考力、判断力、表現力等の資質・能力として、ここでも「自己の課題を見つける」とあります。そうした保健についての自己の課題を見つける力に関するような観点では、調査委員会として、これらの教科書の優劣についてお気付きの点があればと思ひましてご質問しました。調査項目の 3 や 9 に、例えば東京書籍や大修館書店だと見られるのかとも思ったのですが、書かれていないところはそういう優劣があってということでしょうか。

(選定委員長) 調査委員長、お願いします。

(保健調査委員長) 今、話がありましたように、課題を見つけるということに関しては、各者それぞれで工夫がなされています。先ほどお話ししましたように、東京書籍のように大きな写真をもって自分の日常生活で課題が見つけられるように工夫されたところもあります。また、イラストや 4 コマ漫画を使って課題が見つけられるように工夫されたところもありますし、各者で課題を見つけるところは十分考えられています。その中でも、先ほどお話ししましたように東京書籍については、気付きを見つけるということがあることと、もう一つは学習の進め方がきちんと毎回確実に書かれているという点で、東京書籍が優れているのではないかと考えています。

(選定委員長) それでは私の方から。現代的な課題になるのかなと思いますが、感染症などについての対策的なものは各発行者であまり大きな違いはなかったでしょうか。

(保健調査委員長) 感染症に関しては、各者ともインフルエンザ、食中毒、新型コロナウイルス感染症を中心に書かれています。特に新型コロナウイルス感染症について特記して、そこを大きく取り上げているというよりも、今は既に少しずつ収まりつつありますので、そこを押し並べて三つぐらいを説明していますが、その中で一つ紹介させていただきたいのは、大修館書店の5・6年生の54ページをお開きください。

資料として、「新型コロナウイルス感染症の経験から学ぶ」という掲載があります。これは、これまでのこの感染症を生かして、正しい情報を得ることの大切さ、特に不安をおおるような記事や噂に惑わされず、きちんと情報を得るといった今回の新型コロナウイルス感染症で学んだことについて書かれている点が、大修館書店は非常に工夫されているなと感じました。以上です。

(選定委員長) ありがとうございます。発行者によってメモとか書く欄があったりする部分があります。実際ノートを使えばいいのかもしれませんが、保健の授業で書いたりメモをしたりするのに、優れているという発行者はございましたでしょうか。

(保健調査委員長) どの教科書も、先ほどお話ししましたように、学習活動の中に記述欄は設けられています。ただ、先ほどお話ししたように、学研みらいについては各活動に記述欄が設けられているところが特徴だなと思いました。ただし、調査委員会で話が出た中では、学研みらいについては記述欄が多い反面、その他の資料であるとか記述の文章の部分がやや弱いという意見もありました。以上です。

(選定委員長) 他、委員の皆さま、いかがでしょうか。

(選定委員) よろしくお願ひします。光文書院の項目5のところ、現代的な諸課題への対応という切り口で、ジェンダーについて書かれています。小学校でいわゆる性教育、性に関して学ぶということで、今の社会的な視点としては性の多様性というところがいろいろと話題になる機会も多いのですが、全体的な結果の中で、性の多様性に関して言及されているのは光文書院のここの記載だけかなというふうに見たのですが、全体的にそのテーマに関して他の発行者ではどういうふうに使われていて、それをどういうふうに使われていたかというところをよろしければ教えていただければと思います。

(保健調査委員長) ジェンダーに関しては、6者とも取り上げています。ただ、取り上げる度合いが少し違うのです。例えば大日本図書であれば、同性愛に関わること、LGBTという言葉も出てきます。それから光文書院については、性の不一致であったり同性愛についても述べています。

その中で、文教社を見ていただきたいのですが、3・4年生の31ページを見てください。文教社については、1ページ丸ごと使って、「その人らしさを大切に」というテーマでジェンダーについて書いてあります。下の方に、ランドセルの色が昔は男の子は黒、女の子は赤だったのが、いろいろな多彩な色があって、それぞれ自分の好きな色のランドセルを持っていいのだよというふうに、子どもたちに分かりやすい形でジェンダーというテーマについて、その人らしさについて書かれている点が、文教社が工夫されている点だなと感じました。以上です。

(選定委員) たくさんの教科書の中で違いを見つけるということは非常にプロの仕事だなと思って話を聞かせていただいていたのですが、最近のいじめや自殺のホットラインの連絡先というのを東京書籍だけ記載されているのですが、これに関して、もちろん相談があったときに身近な方に相談するという選択肢もそうですし、連絡先まで書いてあるというのは見方によっては非常に突っ込んだ表現の仕方かなと思ったのですが、このあたりはいかがでしょうか。現場として連絡先まで書いてあった方が指導しやすいのでしょうか。その辺の意見を聞かせていただければと思います。

(保健調査委員長) 子どもたちに実際何かあったときに、例えば子どもの中には先生には相談しづらい、あるいはおうちの人に相談しづらいという子どももいます。その中に、電話番号が実際に載っているということは、子どもたちには大きな助けになると自分は思っています。ただし、相談窓口が実際に載っているのは東京書籍だけではないのです。先ほどのジェンダーのところ載せてあるものもあります。ただし、東京書籍については、5・6年生の18ページを見てください。左上に、先ほど言われましたようにたくさんの相談窓口が載っていますが、そこに併せてパラリンピアンである車いすテニスプレーヤーの国枝慎吾さんの記事も載っているのです。窓口だけがただただ載っているわけではなくて、オリンピアンの方の記事も交えてそういう相談について書かれているという点で、東京書籍は優れているなと感じました。以上です。

(選定委員長) よろしいでしょうか。特にないようでしたら、調査委員長、退出していただければと思います。

<調査委員退室>

(選定委員長) それでは続いて、事務局より資料Bの「各小学校における教科用図書研究委員会 調査研究報告書」、および資料Cの「教科書展示会に寄せられた市民の意見のまとめ」について、資料Dも含めて報告していただきます。よろしくお願いいたします。

(学校指導課長) それでは、資料Bの11ページをご覧ください。「各小学校における教科用図書研究委員会 調査研究報告書」です。東京書籍については、項目1や項目4で全発行者の中で最も多くの意見が挙げられ、項目3にも多くの意見が挙げられております。意見の総数については、全発行者の中で最も多くの意見が挙げられております。大日本図書については、項目2で全発行者の中で最も多くの意見が挙げられ、項目5にも多くの意見が挙げられております。意見の総数については、東京書籍、光文書院に次いで3番目に多くなっております。大修館書店については、項目4で全発行者の中で最も多くの意見が挙げられております。文教社については、項目3で全発行者の中で最も多くの意見が挙げられており、項目5にも多くの意見が挙げられております。光文書院については、項目5で全発行者の中で最も多くの意見が挙げられており、項目1にも多くの意見が挙げられております。意見の総数については、東京書籍に次いで2番目に多くなっております。学研みらいについては、項目2で多くの意見が挙げられております。

続いて、資料Cの2ページをご覧ください。教科書展示会に寄せられた市民の意見のまとめの左側の下段から右側上段をご覧ください。市民からは、「心の発達」や「性別」等についてご意見がありました。なお、移動展示ではご意見等はありませんでした。以上です。

(選定委員長) ありがとうございます。そうしましたら、委員の皆さまで「保健」について審議を行いたいと思います。

初めに、委員の方々でも各発行者の教科書を約4週間調査していただいておりますので、それぞれの考えもあろうかと思っておりますので、ご自身の調査結果も踏まえましてご意見等をお願いしたいと思います。特に調査報告書Aの文言の修正等も含めて、あと、そこまでではないけれどもとということもありませんでしたら、口頭でご意見等を頂ければ、そういうものも踏まえまして私の方でも報告させていただくことになるかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。委員の皆さま、どうぞご意見等をお願いいたします。

(選定委員) ありがとうございます。調査委員会の報告書を見ると、やはり東京書籍、大修館書店が適当かなというふうに思うのですが、どうしてもわれわれ現場は東京書籍をこれまでも使っていたものですから、それもあって連続性ということからしてもやはり東京書籍は随分親近感が湧くというか。これまでのことを踏まえて使用できると考えると、

現場の先生方もそういう意味で優れていると思っているのではないのでしょうか。

ただ、だからというわけではなくて、非常に優れているなというふうに思っています。今のお話にもあるように、特にベーシックであったり、金沢型学習スタイルであったりというところを踏まえた学習展開がしやすいというところから見ても、東京書籍はやはり優れているなというふうに私自身は思います。

それから資料 B の、大修館書店も同じようにベーシックカリキュラム等を踏まえてというところもありますので、この 2 者は、私の意見ですけれども優れているのかなというふうに評価しています。

(選定委員長) ご意見としては、調査報告書 A にのっとった、ある面適切に評価されているというようなご意見と捉えたいと思います。他の委員の方はいかがでしょうか。

(選定副委員長) 保健ということで、自分自身の将来の健康については、自分の健康の課題に気付いてそれを改善していこうと思えることが大変大事だなと思ひまして、先ほどの質疑のときも、課題を見つけるということについて質問しました。

そういう観点から見ますと、調査研究項目の 9 番にもございますが、東京書籍は「気づく・見つける」のプロセスも含めて学習場面での思考を促す工夫があつて、主体的・対話的で深い学びが展開できるよう工夫されていることについて、私も教科書を見まして同様に思いました。また、そういう観点から見ると大修館書店も、この報告書にございますが、調査研究項目 3 にそうした点が触れられておりまして、課題を見つけるという観点からも、今名前が出された 2 者を使うべきかなというふうに思ったところです。

(選定委員長) 資料 A の報告書に反映されているというご意見だったと思います。他、委員の皆さまはいかがでしょう。

(選定委員) 調査内容については、今ご説明いただいたとおり各者それぞれ特色があつたと思うのですが、教科書をぱっと見せていただいたときに、東京書籍の教科書の表紙がものすごく目に入ったのです。自分の体であったり、性差、性別などいろいろなものを学んでいくに当たって、東京書籍は多様性というものを全面的にイラストで表現しているかなとすごく感じました。他の発行者のものも見るのですが、健康であったり元気さみたいなものがアピールされているような感じがして、自分の体のことをこれから学んでいくというときには、東京書籍のものがふさわしいかなという感想を持ちました。以上です。

(選定委員長) そういうご意見があつたということをもた報告させていただきたいと思ひます。

(選定委員) 今ほどのご意見は、私も初見で見たときに同じ印象を受けました。例えば、英語の教科書などはキャラクターが出てきて、そのキャラクターが中で活躍する場面が結構多いのかなと思ひて、保健を見たときに同じようにキャラクターが出ているのも面白いなと思ひて見たのです。そのときに、東京書籍は、例えば登場してくるキャラクターの中に、明らかに海外から来たであろう、人種的な多様性とか、車いすに乗っている子が写っていたりということで、そもそも多様性というところを前提に考えていろいろ設計されているなと感じました。

今回、保健の教科書を見るに当たって、時代的に感染症のことがどのくらい扱われているかという視点と、あとは多様性、特に性の多様性みたいなところを各者どのように扱っているのかというところを中心に見させていただいたのですが、そういう特徴立った東京書籍の他に、大修館書店の 3・4 年生の 37 ページのところ、金子みすゞさんの詩を使いながら、多様でいいのだよという言い方を分かりやすく書いているところが非常に良いなと感じました。

ここに先ほどあつたような連絡先があつたりもしましたし、もう一つは感染症の話

なのですが、光文書院の5・6年生の42ページあたりからなのですが、今までの印象以上に感染症のことを非常に詳しく扱っているなどということ、なかなか子どもがそういうことを学ぶ機会は少ないのかなと思いつつも、このようにしっかり扱っているのは非常に良いポイントかなという気がしました。感染症の文脈で「差別は良くないよ」と言っているところも、社会的な特徴を非常に押さえていて良いのかなという気がしました。

全体的に評価の中での印象としては、先ほどジェンダーというキーワードが一つにしかないということで、全体として性の多様性についての評価が表（おもて）に表れてきていないのではないかなということが若干気になる場所でもあるのですが、そのあたりは全体的にどういうふうな話をしていくかということだと思つるので、そういう印象を受けたというところでの意見ということにしたいと思つます。

（選定委員長） またそういった内容について報告はさせていただければと思つます。

今までのご意見の中では、特に報告書Aの方になりますが、修正等のご意見はございせんか。何かその辺のところはよろしいでしょうか。それに対してのご意見。他にご意見なり、感想も踏まえましてありましたら伺いたいと思つますが、よろしいでしょうか。

そうしましたら、確認させていただきます。報告書の内容については特に修正はございせんので、調査委員会の報告の内容を尊重するとともに、先ほどの市民の意見の方から「心の発達」や「性別」等についてのご意見がありましたので、そういう意見も傾聴して、保健における教科書採択の答申を作成したいと思つますが、それでよろしいでしょうか。

<異議なし>

（選定委員長） 他者と比べて優れている発行者について、6者ございしますので、半数程度の3者を選択して、教育委員会に提案させていただきます。

そうすると、先ほどのご意見の方から、他者と比べて優れているのは東京書籍、大修館書店。できましたら、6者ありますので1者ぐらいと思つているのですが、先ほどの選定委員のご意見もありました部分も踏まえまして、あと各学校での調査した部分も尊重させていただいて、各学校の調査の資料Bを見ますと、光文書院が多く項目で意見が挙がっていますので、先ほどの委員のご感想にもございしたので、教育委員会の方に東京書籍、大修館書店、光文書院を挙げさせていただいて。

もちろん先ほど、どの発行者が良いというご意見もございしましたが、そういうものは口頭で教育委員会の方では私から説明させていただくことにしたいと思つますが、いかがでしょうか。そういうことでよろしいでしょうか。

<異議なし>

（選定委員長） では、そのようにさせていただきます。ありがとうございます。では、保健については以上で終了させていただきたいと思つます。ありがとうございました。

続きまして、「家庭」について審議したいと思つます。調査委員長に入ってください。

②家庭

<調査委員入室>

（選定委員長） それでは、「家庭」の説明をさせていただきます。よろしくお願ひします。

（家庭調査委員長） ただ今より、家庭科の教科書の調査結果について報告いたします。家庭科については、2者の発行者について調査いたしました。それぞれの特色を簡単にご

説明いたします。

まず、東京書籍について、項目 5 として、「現代の諸課題への対応や各教科等との関連に配慮が見られるか」というところですが、SDGs に関する動画等の資料が充実し、環境教育のみならず、37 ページから 43 ページにわたり、持続可能な社会の構築と消費者教育を関連付けて学習できるよう配慮されているなどの優れた特色があります。

次に、開隆堂出版についてですが、項目 7 の「本文の内容、挿絵、写真及び図等の扱いが、児童の発達の段階に適しており、文字の書体の大きさ、図版等の印刷が適切である」というところで、23 ページをお開きください。「玉結び」の例のように、簡潔な写真で分かりやすく手順を示し、上段にありますとおり、別のやり方を示しているところもあります。また、149 ページをお開きください。野菜の切り方の目安が実物大の大きさを示しているなど、どの子にも分かりやすく、知識・技能の定着につながるよう配慮されているなどの特色がございます。以上です。

(選定委員長) ありがとうございます。では、委員の皆さまはご質問等をお願いします。

では、私の方から。2 者しかございませんので。学習内容で挙げられている具体的な内容について大きな差みたいなのはございますか。事例的に調理的なものや、先ほどの裁縫的なものもあつたりしたと思うのですが、その辺はいかがでしょうか。

(家庭調査委員長) どちらも生活につながるような形で工夫されているので大きな差はないのですが、それぞれの特色があるので、そちらについて紹介させていただいてよろしいでしょうか。

(選定委員長) よろしくをお願いします。

(家庭調査委員長) そうしましたら、項目 4 なのですが、特に東京書籍の優れた点として、61 ページをお開きください。同じようなページで、開隆堂出版の方は 106 ページをお開きください。比べましたら、特に東京書籍の方では、61 ページの右上に「もったいない」という言葉が紹介されていたり、101 ページの中段にございます「衣替え」など、伝統文化の紹介に加え、昔からの日本人の心、考え方が記されております。また、80 ページをお開きください。左下にはピンクのマークで、道徳の内容項目との関連を意識付けるように配慮されています。開隆堂出版の方は、106 ページと 77 ページをお開きください。開隆堂出版にも、衣食の全てにおいて伝統があるのですが、他国の文化などが広く紹介されています。東京書籍の方は、どちらかというところ日本人の伝統というところを大事にされています。そしてまた、東京書籍の方は、道徳の内容項目というところでのリンクのマークは、こちらが特色かなと思っています。

加えて、開隆堂出版の特色としまして、項目 2 をご覧いただきたいと思います。33 ページをご覧ください。それから 108 ページにもございますが、「生かす・深める」という活動が設定されていて、活用場面が想起しやすく、家庭実践につながるよう配慮されています。こちらが特色的なところかなと思っています。

(選定委員長) ありがとうございます。委員の皆さま、いかがでしょうか。

(選定委員) 本当に 2 者しかない中での比較はまた難しさがあるのだろうなと思ったのですが、特徴的なのが、右上に全部二次元コードがあつて、内容を 1 ページ 1 ページ見た方が、見やすさというか、現場において教えやすさがあるのかなと思いました。何の二次元コードなのか、読まなければ分からないのかというふうに思ったのですが、何かその辺についてお聞かせ願えたらと思いました。

(家庭調査委員長) 開隆堂出版の方は 153 ページをご覧ください。二次元コードの目次がございまして、リンクがページの方にもあるのですが、一覧になっていますので、ち

らの方からも検索して、同様の動画などを見ることができます。ただ、東京書籍の方は、どちらかという大きな会社でもありますので、外部のリンクとつながっているところが多く、特にSDGsの方に特色がかなり多いかな、重点があるなということで、こちらの方は少し違いが見えています。ただ、どちらも調理実習や製作を実習するときに、繰り返し動画などを見ながら学習できるように配慮はされています。

(選定委員長) よろしいでしょうか。ありがとうございます。他、委員の皆さま、いかがでしょうか。

(選定副委員長) 調査研究項目の1番についてご質問させてください。特に基礎的・基本的な知識の習得に関しての各者の工夫についてですけれども、初歩的な言葉について、知識について、内容をまとめられていたり、図などを用いて説明されていることに加えて、生活経験と関連付けたり、既習のことと関連付けたりなど、何か目立った差などがもしございましたら教えていただければ、調査委員会としてそういうことがあれば教えていただきたいと思います。

(家庭調査委員長) ありがとうございます。項目1の方につきましては、例えば東京書籍の方でしたら、21ページをご覧ください。基礎的なものが、「いつも確かめよう」という言葉で確認することができるようなまとめ方になっております。ここが工夫されているかなと思います。それで基礎的な知識が身に付けられるように、このマークを見ながら振り返ったりすることができます。また、東京書籍の21ページ、それから140ページにもこのような形でまとめられています。そのような形の「いつも確かめよう」ということで、やりながら基礎的な知識を確認しながら進められるという配慮はされております。

開隆堂出版につきましては、例えば23ページをお開きください。こちらは「確かめよう」という言葉ではないのですが、大事なところに、例えば23ページの上のところに「玉結び」や「玉どめ」などの大切な用語が太字で分かりやすく記述されております。それと図をリンクしながら確認することができ、こちらについても確実に学習内容が定着されるような形に配慮されております。どちらも、そこについては工夫されているかなということで、大きな差がないように思いました。

(選定委員長) ありがとうございます。他、委員の皆さま、いかがでしょうか。

(選定委員) 先ほども少し触れられていた二次元コードからの飛び先なのですが、最近の教科書の特徴として、実技が伴うような教科書の場合、その動画を手元で見られることはすごく良いと思うのです。Chromebookが導入されてから何年かたっていますが、家庭の授業の中で現状これはどういった活用になっているのかということと、あとは想像すると、特に、先ほど「玉どめ」というのがありました。そういうようなことをするとき、机の上はかなりいろいろなものが出ている状況で見なければいけないと思うのです。そのあたりの活用の状況はどんな感じで、これがあることによって教科書の評価としてはどういう評価になるのかというあたりをお聞かせいただければと思います。

(家庭調査委員長) 二次元コードにつきましては、授業の中で説明をするとか、家庭でちょっと振り返ってやってみたいときにとっても有効ではないかなということは、調査委員の中でも話がありました。ただ、今のお話にありまして、実習があるときに、机の上にいろいろなものがあるときに画面で写すような形にすることもそうなのですが。例えば開隆堂出版だと、項目7として、23ページ、それから24、25ページをご覧ください。教科書の見開きの図で順序立てて、順番に書いてあります。このように手順が全てさっと分かるので、こちらを机の上に置いて、やっていく方が二次元コードよりも実質使いやすいという話がありました。なので、時と場合において二次元コードを使ったり、全体でやるときにはこのように見やすい形である開隆堂出版の方がとても見やすいという話が出てい

ました。

(選定委員) ありがとうございます。

(選定委員長) ありがとうございます。他、いかがでしょうか。

今のことに関連しまして、私も確かに簡単に動画が見られることは良いことだと思うのですが、教科書がそちらの方に任せきりではなくて、教科書なのだからしっかり図を描いてあるとよいというような思いが個人的にはございます。先ほどから少し報告の中で説明がありますが、内容によっても違ってくると思うのですが、家庭の中で先ほどのように糸を使ってものを縫っていくという部分におきまして、図や写真が比較すれば操作的にはどちらがいいかという差が出ていけば、説明していただければと思うのですが。

(家庭調査委員長) 今の形で、手順というところと言うと、図の分かりやすさとか、簡単な言葉で手順を示したり、実物大の大きさを示しているというところでは、開隆堂出版の方が若干見やすいかなというところではありました。東京書籍の方でも、例えば 132 ページにありますように、先ほども出ていましたが「いつも確かめよう」は、そこに手を置いて実際にやるというような形の写真が示されています。開隆堂出版の方にも 148 ページにこのような手があるのですが、東京書籍の 137 ページにも実物の手がありまして、右利きと左利きによって、手を乗せてやるよということをモデルで練習するというような工夫もありました。

(選定委員長) では、調査委員長、ありがとうございました。一度退席していただいて。

<調査委員退室>

(選定委員長) それでは、事務局から当該種目の資料 B、C、D について説明をお願いします。

(学校指導課長) 資料 B の 10 ページをご覧ください。東京書籍についてです。項目 1 で開隆堂出版より多くの意見が挙げられております。開隆堂出版については、項目 2 から 5 で東京書籍より多くの意見が挙げられております。また意見の総数につきましても、東京書籍より多くの意見が挙げられております。

なお、資料 C「教科書展示会に寄せられた市民の意見のまとめ」については、ご意見等はございませんでした。以上です。

(選定委員長) ありがとうございます。では、「家庭」についての審議に入りたいと思います。答申のために報告書に付け加えたらよい点や修正など、削除したらよいことなども含めましてご意見等をお願いします。

感想も踏まえまして、ご意見、感想等もございましたら、調査されてこういうところが良かったということもございましたら併せて報告させていただけたらと思います。もちろん報告書 A についての修正点等ございましたら、ご指摘いただければと思います。

(選定副委員長) 先ほど調査研究項目 1 で、基礎的・基本的な知識の習得に関係することについてご質問しました。ここの書き方をもう少し、先ほどご説明いただいた良さについて書くとうろかなというふうに思ったところです。

(選定委員長) もう少し具体的に書いたほうがよいということですか。

(選定副委員長) 例えば、発行者番号 9 番の開隆堂出版ですと、基本的な言葉の意味が明確で、図などを用いて説明ということだと、先ほどのご説明では、手順が大きな写真

で見やすく説明されているというご説明があったかと思いますが、先ほどのご説明を踏まえたらどうかと思います。

(選定委員長) 今のご意見ですと、用語の定義が明確に示され、図などを用いて操作手順が見やすく説明されているというような言葉を入れた方がいいというご意見でしょうか。

(選定副委員長) はい。

(選定委員長) 他の委員の方は、いかがでしょうか。もう少し、他の発行者と比較して、優れていることが伝わる文言に修正するというご意見でしょうか。

(選定副委員長) はい。先ほどの調査委員会からの説明ですと、この両者についてはそれぞれ工夫が見られるということでしたので。

(選定委員長) 中の表現をとということですね。はい、分かりました。委員の皆さま、今のご意見に対して何かご意見はございますか。特にないようでしたら、ご意見を反映させていただきたいと思いますが、微妙な表現につきましては一任していただきたいと思います。またきちんとしたもの、修正を少し入れるかもしれませんが、操作手順が分かりやすいとか見やすいというような表現を中に入れていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

<異議なし>

(選定委員長) ありがとうございます。他、いかがでしょうか。先ほど失礼しました。お願いします。

(選定委員) 感想になりますけれども、どちらもSDGsの視点に立った記述がたくさんあるのですが、開隆堂出版の方はキャリアインタビューが豊富に載っていたのが、子どもの興味・関心を高めることにとっても有効だなと思って見させていただきました。特に最後にたくさんの方が載っていたかなと思うのですが、そういったところは評価してもよいのではないかなと見させていただきました。

(選定委員長) 文言的に何か入れた方がいいところはありますか。例えば開隆堂出版の方で、SDGsの視点で振り返りやインタビューなどのページがあるということを入れた方がよろしいですかね。

(選定委員) もしも可能でしたら、そういったことはここの特色になるのかなと思いましたので。

(選定委員長) よろしいでしょうか。では、そういったインタビュー等が入っているという内容を少し入れさせていただくというご意見でしたけれども、他の委員の皆さん、それに関して何かございますか。どうぞ。

(選定委員) 私も開隆堂出版の方にキャリアインタビューのページがあったりするのですが、将来の仕事などを考えたりする上で大変役に立つなということは感じました。あと、これはどちらの発行者もなのですが、地域との関わりをととても大切にしているのがいいなと思いました。それが現代的な諸課題の対応というところに、本当に両者ともあるなと感じています。地域の中で生きる一人としてというところは家庭科では大変大切だなと感じています。以上です。

(選定委員長) そういう点が重要だという感想があったということは報告したいと思います。どうぞ、お願いします。

(選定委員) これは保護者としての感想にはなるのですが、家庭科という授業の性質上、どうしても実技が伴うものが多いので、二次元コードが多いのかなと思います。であれば、この教科書は 150 ページぐらいあり、先ほどの教科書のように薄いものなどがあったりして、逆に二次元コードが非常に多いです、今回の家庭科というか、全般的に実技を伴う科目に関しては非常に多いなというふうには思います。何となくの印象なのですけれども、逆に二次元コードを見せることによってページ数を減らすことができると、それもまた一つのかなと思いました。それは今後議論していきたいなと思いました。

(選定委員長) 今後全部デジタルになる可能性もないことはないかもしれませんが、そういうご意見もあったということは。

(選定委員) 先ほどの委員の話とリンクするのですが、私どもは地域とお付き合いすることがすごく多くて、ご一緒することもすごく多いのですが、なかなか地域の、例えば町会であったり、地域団体の方々のご苦勞されているという現実があるのかなと。地域とのつながりがだんだん弱くなっている。その中で、やはり地域を大事にしていく。金沢には地域文化が非常に根付いている、校区単位の地域文化がすごく息づいているまちかなと思うので、そういう観点でこの教科書を見ると、どちらも地域について挙げているのですが、私は開隆堂出版の方が、金沢のものに近いなと。例えば、回覧板の必要性であったり、あるいは地域のお祭りであったり、もちろんどちらも挙げているのだけれども、そんなところも含めると、そういうところの方が見よいのかなというふうに私自身は、これは感想ですが思いました。

(選定委員長) 感想としてはご報告を極力させていただこうと思っています。そういう感想があったということですね。

他はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。2 者ですので。それでは確認させていただきます。調査委員会の報告書に対して、ただ今審議した内容について、先ほど大きく 2 点ございました。委員長の方に一任させていただいて、細かい文言については、趣旨的にはご意見のあったように修正させていただきます。修正を加えさせていただき、「家庭」における教科書採択の答申を作成したいと思います。それでよろしいでしょうか。

<異議なし>

(選定委員長) ありがとうございます。2 者ですので、記述はこのままで提出させていただきます。ありがとうございます。

続いて、「図画工作」について審議を行いたいと思います。調査委員長に入ってください。

③図工

<調査委員入室>

(選定委員長) よろしいでしょうか。では、調査委員長より説明させていただきます。よろしく願いいたします。

(図工調査委員長) それでは、図画工作科は開隆堂出版と日本文教出版の 2 者の発行者についてご説明いたします。

初めに、開隆堂出版からご説明いたします。項目 3、児童の興味・関心を生かした自主

的、自発的な学習が促される配慮に関する項目です。教科書 3・4 年上の 4～7 ページです。まず 4 ページをご覧ください。「図画工作を学ぶみなさんへ」として、教科書の見方・使い方を紹介しています。ページ上には 3 人のキャラクターを配し、図画工作で育つ三つの力を示しています。ページ下には、参考等をマークで示し、タブレット端末で各題材ごとに児童の自発的・自主的な学習を促し支えるよう工夫されています。

次は見開きページを開いていただきまして、5 ページには、身に付けたい三つの力と題材の内容を示した目次が配置されています。6、7 ページには、年間の学習の見通しを持つことができるよう、活動の写真とともに題材が紹介されています。児童のわくわく感、どきどき感を生み出すような配慮がなされています。

当教科書 54、55 ページをご覧ください。「つながる造形」では、図画工作の力で学校生活をもっと楽しくしようと呼びかけ、図画工作と学校生活の関連を詳細に示して、日常的に造形的な見方・考え方を働かせて、図画工作の学びを生活や社会で活用できるよう配慮されています。

3・4 年下では「地域とつながる」、5・6 年上では「人や暮らしとつながる」、5・6 年下では「人とともに未来を作る」「人々の幸せや平和を願う」とテーマを掲げて、図画工作の学びの活用を促すページとなっています。

次に項目 5、現代的な諸課題への対応や各教科との関連への配慮について説明いたします。同じ教科書 3・4 年上の 13 ページをご覧ください。本題材「生まれかわったなかまたち」は、身の回りの不要になった材料などの形や色から発想を広げ、その組み合わせを工夫したり、仲間を作ることを楽しんだりすることをめあてにした造形活動です。こうした身の回りの不要になった材料など、発想豊かに組み合わせを考え、新たな意味や価値を持つものに作り変える一例として、「タイヤかいじゅうあらわれる」と題した SDGs の取り組みがコラムとして紹介されています。

また、当ページ右下に記載されている「あわせて学ぼう」をご覧ください。社会科の「みんなの住む町のいらなくなったものをむだにしない取り組みについて調べてみよう」と、本題材のめあてにもある「身の回りの不要になった材料を生かして作る」に合わせて、他教科との関連を具体的な問いで投げかけ、教科横断的に学びを促すよう配慮がされています。

続いて、日本文教出版についてご説明いたします。まず項目 1、基礎的・基本的な知識や機能の習得に関することです。3・4 年上の巻末、55 ページから始まる「材料と用具のひきだし」をご覧ください。55 ページは、水彩絵の具を使った制作の楽しさへの期待を膨らませる、カラフルで楽しいページになっています。1 ページおめぐりください。用具の基本的な使い方をこの後 8 ページにわたって記載しています。56、57 ページには「かく」、次の 2 ページには「木の加工」、次のページには「穴をあける」「きる」「はる」「つける」など、児童が各題材において必要となる用具の基本的な使い方やポイント、児童がやりたいことごと、つまり行為ごとに整理・焦点化して記載しています。また 58 ページの「木の加工」にある、ページ中ほどの釘の打ち方の説明では、「はじめはトントン」「強くドンドン」「最後はトントン」と擬音語で示し、児童が釘打ちのこつをイメージしやすいよう工夫されています。

もう一つは項目 8、金沢市の児童の実態に即し、金沢ベーシックカリキュラム等を踏まえた指導との関連についてです。3・4 年下、20、21 ページをご覧ください。「組んで立ててつなぐんぐん」という造形遊びの題材です。この題材では棒状の材料の特徴を生かし、できる形、組み合わせた感じが分かること、つなぎ方や組み合わせ方を工夫する、活動の仕方などを考えることをねらいとして設定しています。このねらいの達成のための活動を、教科書では新聞紙、木の枝、竹ひもや割り箸といったさまざまな材料、表し方を示し、児童の実態や学校の状況に合わせた授業展開が工夫できるように、また児童の自発的な活動を促すように工夫されています。

20 ページ左上をご覧ください。項目 9 にも関連することですが、ここには「学習のめあて」に身に付けるべき能力が明確に記載されています。特に電球マークで示された「思考力、判断力、表現力等」について、発想や構想に関する資質能力と鑑賞に関する資質能力

の 2 点が示され、思考力、判断力、表現力等を広げ深めることができるようになっていきます。どの題材も同様の構成で「めあて」が示されており、発想や構想と鑑賞を相互に関連させて、思考力、判断力、表現力等を育成するために必要な配慮がなされています。以上で説明を終わります。

(選定委員長) ありがとうございます。それでは委員の皆さま、ご質問等をお願いいたします。

(選定副委員長) 日本文教出版の教科書のご説明の後半の方で詳しく教えていただきました、一つの題材において複数の活動の可能性を示して、あるいは教師の学習指導の自由度を持たせているようなことですか、調査研究項目の 2 のところ、表現だけではなくて鑑賞の 2 点も示しているということで、両者を対比されてそれぞれの特徴がこの報告書で見取れるなと思いました。

そこでなのですが、調査委員会としては、こういう活動の自由度、児童の実態に合わせて授業展開をいろいろ考えられるとする日本文教出版と、ある程度事をそろえて活動を制御するようなことが書かれている開隆堂出版ですと、金沢市の先生方の年齢等も踏まえ、どちらが学校現場ではより良いかというお考えがもしございましたら、教えていただければと思います。

(選定委員長) 委員長、お願いいたします。

(図工調査委員長) では、また別の題材で比較してみたらどうかなと思います。開隆堂出版 5・6 年上の 34 ページ、日本文教出版の方では 5・6 年下、42～45 ページ、両方とも造形遊びに関する題材です。材料と場所の特徴を生かしながら造形遊びをしていく活動ですが、開隆堂出版の場合は「地球まるごとたからぼこ」、それから「この空間がいい感じ」という次のページをめくっていただいた 2 題材で構成されています。

日本文教出版の場合は「自然を感じるすてきな場所で」ということで 42～45 ページ、多くのページを割いてさまざまな活動を展開するようにしています。例えばそのページをめくっていただきまして 44 ページ、ここには雪や砂といった材料、それから場所として設定をし、授業展開を紹介しています。金沢の学校は、冬は雪が降りますし、それから海に近い所もあります。いろいろな学校の状況、地域の状況、子どもの実態に合わせた活動が展開できるという意味で、われわれとしてはこういう示し方というのは、学校の実情、子どもたちの学び、先生の選択肢が広がるという意味でも、広く深く学ぶことができるのではないかなと考えています。

(選定委員長) ありがとうございます。他、ご質問はいかがでしょうか。お願いします。

(選定委員) 例えば、図画工作の教科書は写真が非常にインパクトがあるなと思って見ている中で、マスクをしている写真と全くしていないのがあって、開隆堂出版は割と全部写真がマスクをしていないのに対して、日本文教出版はほとんどマスクをしている写真が目立つなとちょっと気になってしまったのですが、何かまだ学校現場として、指導している中で、大差ないですかね。あと、二次元コードも小さいな、一回りサイズ感が両者で違うかなと思ったので、その辺の読み込みにくさというのがあったりするのかなと思いました。

(図工調査委員長) まず写真についてですけれども、撮影された時期がこの時期ということもあってなかなか難しいことがあるのかなと思っています。われわれ調査した者で話をした限りでは、日本文教出版の子どもたちの写真が非常に生き生きした表情ではないかなと考えています。

また二次元コードについてですが、日本文教出版はやはり小さくて、子どもたちが持っている端末では非常に読み込みにくいという現状があります。ただ、今もお話がありました写真については、4年間この教科書を使うわけで、二次元コードについては別途対応ができる、大きくしたものを子どもたちに印刷して渡す等々できますので、二次元コードの小ささというのは教師のサポートによって解決できる場所ではないかなと思っています。

(選定委員長) よろしいでしょうか。ありがとうございます。他、いかがでしょうか。

(選定委員) 報告書を見ると、2者あってそれぞれに優劣を付けるような表現になっていると思うのです。別にそれが良いとか悪いと言うつもりはないのですが、先ほどの説明や報告書から両者ともに評価が高いと感じたのですが、それぞれの良さの違いについても一度ご説明いただけるとありがたいと思うので、ぜひお願いします。

(図工調査委員長) まず開隆堂出版の項目4についてですけれども、「みんなのギャラリー」というのを特設しまして、地域の特性を生かした造形活動や地域の作家との関わりを通して、子どもが制作している様子を取り上げています。そのことで、図画工作科の学習が閉じられた空間の学びではなくて、人との関わりや人とのつながりで学びが広がっていくこと、人・地域とのつながりの良さを感じられるような内容の充実があるかなと思っています。

日本文教出版の方ですけれども、「教科書美術館」のページが項目4番に当たるかと思っています。例えば5・6年下の38ページをご覧くださいと、各地に伝わる伝統工芸や和菓子について、その文様について受け継がれてきた形や色、イメージというものに着目させています。共通点、違い、特徴について考えることができるページになっていると思っています。そして、このページをイントロダクションとして身の回りにある文様に着目し、新たな気付きを促し、そしてまた表現につなげる活動を取り上げていますので、両者とも良さがちょっと違った方向性を持ってあるのかなというふうにわれわれは考えております。以上です。

(選定委員長) よろしいでしょうか。他、ご質問等がありますか。

(選定委員) ありがとうございます。金沢市の小学校の中では、大きな学校には図工を専門とする教員がいると思いますが、そうでない学校もたくさんあって、学級担任が指導するような場合も多いと思います。そういう点でこの2者がどのように評価されたか教えてください。

(図工調査委員長) まずは、子どもたちの思い、やりたいことというのを支える教科書としては、先ほどもお話しさせていただきましたが、巻末で子どもたちのやりたいことごとに技能を紹介しているという点で、日本文教出版の教科書は良いのかなと思っています。

あと、教師の経験値等々もあるかと思いますが、子どもたちがやりたいという、まずそこからスタートするというのが図画工作科ではないかなと考えております。そうした思いを高める教科書としては、今ほどお話ししましたように良いのかなと思っています。

(選定委員長) よろしいでしょうか。ありがとうございます。他、いかがでしょうか。お願いいたします。

(選定委員) 5・6年上を見るとどちらもあるのですけれども、例えば日本文教出版なら54、55ページ、開隆堂出版は48、49ページで、本当にGIGAスクール構想以降、導入された端末を使っていくというところが、図画工作で作品作りに使うというところもすごく見えて新鮮に感じています。確かに文房具と言っているぐらいだから、画材の一つでもあるよねというところは非常になるほどと思ったのですけれども、こういったChromebookを

使って実際に作品を作るとか、そういった授業での活動というのは、この教科書にはこうやって取り上げられているのですけれども、現状はどういうふうになっているのかと。こういうのも、少し時間がかかって結構大変なのではないか、特にクレイアニメなどは非常に時間がかかりそうな気がします。この辺というのは実際に授業の中での取り組みとしてはどういった形で活用されていくような内容になっていますでしょうか。

(図工調査委員長) 現状としては、今ここにも紹介されていますアニメーションを制作するという実践は数多く見られるかと思えます。端末を使うということだと、写真を撮る、自分の発表をビデオに撮って後で見直す等々の使われ方をしております。今のクレイアニメーションについて言えば非常に時間がかかるものですので、これを基にしてどんな表し方ができるのだろうということを考えていけるかなと思っています。発行者によってはアプリを提供しているところもありますので、そういうものを活用しながら、時間と子どもたちの学びを考えたカリキュラムを作っていく必要があるかなと思っています。

(選定委員) ありがとうございます。こういうことができるということを知りたがるものとしてはすごく良い内容だと思っていて、時間がかかるクレイアニメのようなところは、夏休みの作品作りに取り組みたりするヒントになって非常に楽しそうだなと思いつつ見させていただきました。ありがとうございました。

(選定委員長) ありがとうございます。他、委員の皆さん、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。では、調査委員長、ありがとうございました。退出していただければと思います。

<調査委員退室>

(選定委員長) そうしましたら、事務局の方から、当該種目の資料 B、C、D について報告をお願いいたします。

(学校指導課長) それでは、資料 B の 9 ページをご覧ください。開隆堂出版につきましては、項目 1 と項目 3 で日本文教出版より多くの意見が挙げられており、項目 5 につきましては日本文教出版と同数の意見が挙げられております。日本文教出版につきましては、項目 2 と項目 4 で開隆堂出版より多くの意見が挙げられております。項目 5 については、先ほどもお伝えしたとおり開隆堂出版と同数の意見が挙げられております。意見の総数につきましては、開隆堂出版より多くの意見が日本文教出版の方に挙げられております。

なお、資料 C につきましては特に意見はありませんでした。以上です。

(選定委員長) ありがとうございます。では、審議に入りたいと思います。図画工作について、答申のための報告書に付け加えたらよい点、修正・削除したらよい点などありましたらお願いいたします。どうぞ。

(選定副委員長) 教科書の自由度というのか、学習指導の自由度に関して先ほど質問させていただきました。また先ほど、専門の教員が必ずしも指導するとは限らないということで、そういうご質問も頂いておりました。校長先生方の目からしますとどんなふうにお考えかなということをおっしゃるところです。

(選定委員長) 校長先生に対する質問で、もしご回答があれば。

(選定委員) 校長の立場というよりも、私がもし受け持つとしたら、どちらもあまり変わらないというのが本音かなと思います。もちろん今ほどあったように、あえて選ぶならば確かに日本文教出版の方が。

なぜかという、先ほどの話で 3・4 年生の、例えば水彩の使い方などのページがありま

したね。最後の方です。ページでいうと3・4年上の58ページかな。教科書を読ませてもらって一番着目したところなのですが、この辺などは本当に分かりやすいなど。3年生になると授業でこういうことも起こったりとか、特にその後の金づち、小刀等も明確にこうやって書いてあります。もちろん開隆堂出版も書いてあるのですが、分かりやすい見開きでしっかり書いてあって、私としても分かりやすいなど。何せ校長としては、けがが多いものですから、これをきちんと指導してほしいなというのが本音でして、そういう観点からするととてもいいなと思っています。

(選定委員長) ありがとうございます。他にありますかでしょうか。

(選定委員) 私も校長として。子どもたちの作品は校内に掲示したり展示したりするのですが、下の学年の子が上の学年の子の作品を見て、「ああ、かっこいいな」とか「僕も6年生になったらこんなのを作るんだな」ということを思ったりすると思うのです。一つの作品であっても、それがすごい教育力というか、次の下の子どもたちをまた育てる力になるなということを感じています。

そういうことを言うとなれなのですけれども、今、日本文教出版の教科書を使っていて、今の子どもたちが上の学年の作品に憧れを持っていると考えたときに、来年、もしですけど、本当に一個人の意見です。同じ教科書であれば、また同じ作品を自分だったらこう作るなという視点で作ったりもできるのかなというふうに思っております。あくまでも個人の感想です。

(選定委員長) ありがとうございます。校長の立場でなくても構いませんので、お願いいたします。

(選定委員) 図工はやはり、前年度までに付けた力というのは、小刀の使い方であったり、たまたま今開いているのですけれども、そういったものが次の年でしっかり身に付けて初めて、その年の作品作りに生きてくれるのだろうなと思って見させてもらっています。そういった意味でも、見やすいまとまり方をしている、引き出しという形でまとまっている教科書は大変見やすいなと思って見させていただきました。以上です。

(選定委員長) ありがとうございます。他、いかがでしょうか。修正などのご意見、ご感想も含めまして何かございましたら。特に修正等はございませんか。

私も、感想ですけど、報告書Aを見させていただいて、8番目の項目になりますけれども、日本文教出版の方で児童の実態とはどういうことだろうということを質問しようと思ったら、ちょうど調査委員長に報告していただいて、それこそ金沢の子どもたちの環境的な側面も含めて、雪が降ったりとかそういう実態に合ったような作品というか写真とか、そういうものもあるのだなと思いつつながら。何よりも意欲を持って取り組むというところを強調しておられたので、確かに子どもたちは本当に意欲を持っていて、そういう可能性がある子が多いと思います。ここは特に21世紀美術館などもありまして、いろいろな意味での環境的な刺激、自然環境、文化的な環境も含めて意欲があるので、そういうものを大切にしているのだなという感想を持ちました。他、いかがでしょうか。委員の皆さま。よろしいでしょうか。

そうしましたら、確認させていただきます。報告書Aの内容について特に修正等ございませんでしたので、調査委員会の報告書の内容を尊重して答申の作成をしていきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

<異議なし>

(選定委員長) ありがとうございます。では、そのようにさせていただきます。続いて「社会」の方に移らせていただきます。

④社会

<調査委員入室>

(選定委員長) では、委員長の方から説明していただきます。よろしくお願いいたします。

(社会調査委員長) よろしくお願いたします。ただ今より、社会科の教科書の調査結果について報告いたします。社会科については、3者の発行者について調査いたしました。それぞれの特性を簡単に説明いたします。

まず、東京書籍についてです。調査項目8、「金沢市や児童の実情に促し、金沢ベシックカリキュラム等を踏まえた指導との関連が図られていること」というところがとても優れていました。5年生上の教科書の2ページをご覧ください。どの学年でも教科書の最初に、社会科の見方・考え方を表すイラストが示されています。同様に、24ページの「学習の進め方」にも同じ記載があります。ご覧ください。また各単元においても多くの時間で、社会科の見方・考え方を活用して深い学びが実現できるよう工夫されています。

同じく5年上の49ページをご覧ください。「あたたかい土地の暮らし」の学習を例にして話をします。右上に「あたたかい土地の家には、どのようにふうがあるのかな」と記され、気候と人々の暮らしとの関わりに着目させ、「つかむ」場面で深い学びができるように工夫されています。51ページをご覧ください。右上に「さとうきびやパイナップルづくりは沖縄の気候とどのような関係があるのかな」と記され、「調べる」場面で産業と気候の関わりに着目して深い学びができるように工夫されています。55ページをご覧ください。右の真ん中に「学習したことを総合し、あたたかい土地のくらしや産業の特色を考えてみよう」と記され、「まとめる」場面で温かい土地の暮らしや産業の特色を総合的に考えることができるように工夫されています。

見方についてはどの発行者も記されていたのですが、考え方も記されているのは東京書籍だけであり、子どもたちが社会的な見方に着目して、考える力を付けることができるようになっています。教師にとっても深い学びを実現する授業づくりの参考になると私たちは考えました。

次に、教育出版についてお話しいたします。教育出版に関しては調査項目7、「本文の内容、挿絵、写真及び図等の扱いが児童の発達の段階に適しており、文字の書体の大きさ、図版等の印刷が適切であること」が優れていました。

6年生の教科書の204、205ページをご覧ください。「戦争と人々の暮らし」について学習問題をつかむ時間ですが、白黒だった写真をカラー化し、当時の空襲の被害の様子や人々の様子について関心を高めることができるように工夫されています。また296ページ、巻末をご覧ください。カラー化された資料の掲載ページについて明示されています。

次に、日本文教出版についてお話しします。日本文教出版は調査項目5、「現代的な諸課題への対応や各教科等の関連に配慮が見られること」という点で優れていました。4年生の教科書の5ページをご覧ください。教科書を活用してSDGsについて考えることができるように、教科書の使い方が明示されています。続いて28、29ページをご覧ください。単元の最後に「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」が記されており、その単元で学んだことを生かして、SDGsについて調べたり考えたりすることができるように工夫されています。また、SDGsの目標シールを貼るコーナーも設けられており、巻末のシールを貼ることで子どもたちがSDGsへの興味を持つことができるように工夫されています。3者についての説明は以上になります。

(選定委員長) ありがとうございます。では、委員の皆さまにご質問をお願いいたします。なければ、私から1点。高学年で東京書籍は上下が分かれていますけれども、何か良い点とか、逆に良くない点はございますか。

(社会調査委員長) 調査委員会でも議論になりまして、良い点としましては、分冊する

ことで荷物の軽量化を図ることができると思います。デメリットというか、気になる点としましては、例えば6年生でしたら政治と国際理解の巻と歴史の巻に分かれています。歴史で学んだことを国際理解で活用したりするときに、既習を生かすということには少し使いづらい面もあるのではないかという意見もありました。そのときには、必要なときに2冊を持ってくるという手立てが必要になってくるのかなということを調査委員会では話し合っております。

(選定委員長) そういう場面は結構多いものなのですか。小学校だからそうでもないのかなという気もしますが、その辺はどうでしょうか。

(社会調査委員長) 例えば予想などを立てるときには既習を生かすことがすごく大事になりますし、5年生の産業学習などでは、農業で学んだ見方・考え方を工業で活用したりすることも当然考えられますので、考える力を育成するという意味では、見直すことは手立ての一つとしてはあり得るのかなと考えています。

(選定委員長) 分かりました。委員の皆さま、いかがでしょうか。他、ご質問・ご意見、どうぞ。

(選定副委員長) 調査研究項目の2に主に関わるかと思えますし、9もある程度関わるかと思えます。特に項目2の判断力を育むことに関してですけれども、報告書ですと、主に表現力についての記述が多いなと思えました。社会への関わり方を選択したり、判断する力を育むという観点から、この3者で大きな違いがあったのか、なかったのか。これは一例ですけれども、教科書にはノート、プレゼンテーションソフトを使って考えをまとめた後で、ノートで「私は漁業で働く人を増やす工夫をしていかななくてはいけないと思います」みたいな、そういうノートを示したりというのがあるのですが、そのような判断力について育む工夫に差が見られたかどうかということについて、追加でご説明がもしあればお願いできればと思いました。

(選定委員長) お願いします。

(社会調査委員長) 項目2番の特に「思考力・判断力・表現力等を育むため」というところですが、自分としてはまず、「まとめる」というところのまとめ方に少し着目しました。その点では当初の思考ツールというものを大変使っていたりするなど、思考という面でいろいろな方法を使っているのかなと思います。

例えば、東京書籍の6年生の政治の学習のまとめのところですが、ダイヤモンドランキングという思考ツールを活用して、まとめをするということを取られています。このような感じでさまざまなツール等を使ってまとめていくところに特色があるのかなと考えています。

それから教育出版の方では、同じく6年生をお願いします。人々の願いを実現するまでの流れをフローチャートというか、関係図としてまとめています。このような関係図とか、4年生では双六でまとめているところもありまして、多様な方法で思考させたり、まとめさせたりしているところに特色があるのかなと思っています。

日本文教出版ですけれども、多くの単元で話し合い活動を大変重視したまとめの仕方をしていますが、その後にもこのようにノートの例を示しながら考えをまとめるということもされています。ただ、日本文教出版では単元の中によく、さらに考えたい問題などが例示されて、子どもたちが意見を交流することができるような、考えを広げることができるような配慮はされているのかなと思って見させていただきました。

あと、三つの発行者全てなのですからけれども、選択事例が大変多様に準備されていました。そのような選択事例を通して学ぶこともできるということも、比較するという思考という面ではいいことなのかなと思って話し合いをしていました。以上です。

(選定委員長) よろしいでしょうか。ありがとうございます。他、いかがでしょうか。お願いします。

(選定委員) 本当にどれも非常に細かく、写真なども非常にユニークなものが活用されていて、見やすいなと思って見ていたのですが、東京書籍も確かにドラえもののイラストなどがあっていいなと思ったのですが、先ほどの比較のところ、教育出版はアメリカ、中国、ブラジル、サウジアラビアと比較しているところを、片や東京書籍の方はサウジアラビアが消えてフランスが出てきているのです。比較を対比したときに、僕はサウジアラビアがあった方が比較しやすいかなと思ったのですが、この辺の比較で、どちらがどうこうというのは何かありますか。

(社会調査委員長) 6年生の国際理解のところは、どの教科書もおおむね4カ国取り上げられています。東京書籍はアメリカ、中国、ブラジル、フランス、教育出版はアメリカ、中国、ブラジル、もう一つはサウジアラビア、日本文教出版はアメリカ、中国、ブラジル、韓国ということで、日本と貿易面・産業面で関わりが深い国、または歴史的に関わりが深い国、文化などで関わりが深い国という形で選択されているのではないかと自分たちは話し合いました。

特に金沢市の姉妹都市という観点で比べてみたときには、東京書籍は四つとも姉妹都市がある国であり、教育出版はアメリカ、中国、ブラジルの三つに姉妹都市があり、日本文教出版はアメリカ、中国、ブラジル、韓国の四つとも姉妹都市があると。ということは、金沢とのつながりという意味であれば、そういうつながりもあるのではないかなと私たちは分析をしてみました。以上です。

(選定委員長) よろしいでしょうか。他、ご質問いかがでしょうか。

私の方から。インターネットに関しては、Chromebook を使っていると思うのですが、社会は調べ活動が多いと思うのですが、3者で何か違いはありますか。ネットを使っている調べ活動での差はありますか。

(社会調査委員長) 二次元コードに関わることで少し。今からタブレット、1人1台端末を使っている調べ活動ということになると、二次元コードを使っている調べ活動が子どもたちにとって一番使いやすくなっていくのかなと思いますので、自分たちもそこに着目して、二次元コードについて少し分析してみました。

まず、東京書籍が自分たちは一番使いやすいなと思っていたのですが、それはそれぞれの学習場面に応じた最適なコンテンツが用意されていることと、二次元コードの位置がおおむね固定されていること、それからどのような内容が二次元コードで見られるのかということが明記されているのです。今ここは5年生の「国土の地形の特色」というところなのですが、この二次元コードのところ「学習の初めに見てみよう」「学習計画のワークシート」というものがこの二次元コードで読み取れますというふうに書かれています。それから、この中でもう一つ、歴史民族資料館の方にインタビューをしようという動画が入っています。この動画を見ることができるのは東京書籍だけでした。というところに特色があるのかなと思っています。

それから教育出版ですが、ワークシートや動画、資料などの読み取りやすいさまざまなコンテンツが用意されていて、1人1台端末で個に応じた学びができるようになっています。例えば5年生の45ページを見ていただけますか。教育出版にも動画があるのですが、これはワークシートが載っています。このマークだけでは説明文は書いてないのですが、教育出版の工夫としましては、これがワークシートなのか、動画なのか何なのかというのは、目次のページに書いてあります。ここに「学びリンクを利用する」ということで、どのような二次元コードを使って読むことができるのかということが示されています。教育出版も多種多様なコンテンツが用意されていると思います。ウェブサイトもここで見ることもできますので、ウェブサイトを見るときにはここを使って調べることができると思

ます。

日本文教出版についてなのですが、ワークシートや動画、スライドショーといったさまざまな種類のコンテンツが用意されて、1人1台端末を用いて調べるようにはなっていますが、5ページの方で、教科書デジタルコンテンツということで、このマークをタブレットなどで読み取るといろいろなことが分かります、アクセスができますということが書いてあります。二次元コードを読み取ると、どんなものが見られるのかというところまではちょっと分からないのですが、いろいろな資料を見ることができる形になっています。

(選定委員長) ありがとうございます。他、委員の皆さま、ご質問いかがでしょうか。よろしいでしょうか。では、調査委員長、ありがとうございました。退出をお願いいたします。

<調査委員退室>

(選定委員長) それでは、事務局からの報告、当該種目の資料 B、C、D についてお願いいたします。

(学校指導課長) それでは、資料 B の 3 ページをご覧ください。各学校における教科用図書研究委員会、調査研究報告書です。東京書籍につきましては、項目 1、項目 2、項目 4 で全発行者の中で最も多くの意見が挙げられており、意見の総数につきましても最も多くの意見が挙げられております。教育出版です。項目 3 と項目 5 で全発行者の中で最も多くの意見が挙げられており、項目 2 は東京書籍に次いで 2 番目に多くなっております。続きまして、日本文教出版についてです。項目 3 と項目 5 で全発行者の中で最も多くの意見が挙げられており、項目 1 と項目 4 では東京書籍に次いで 2 番目に多くの意見が挙げられております。意見の総数につきましては、東京書籍に次いで 2 番目に多くなっております。

続きまして、資料 C の 1 ページ目をご覧ください。「教科書展示会に寄せられた市民の意見のまとめ」の左側の下段から右側をご覧ください。常設展示については「二次元コード」や「記載内容」「資料」「カラー化」「分冊」「政治」「国際」「歴史」など、さまざまな視点から各発行者に対する賛否の意見が多数寄せられております。また 4 ページの左下から 5 ページ左側もご覧ください。移動展示についてもさまざまなご意見が寄せられるとともに、授業での活用のしやすさという点でご意見等もありました。以上です。

(選定委員長) ありがとうございます。それでは委員の皆さまからご意見、修正等も含めましてお願いしたいと思っております。いかがでしょうか。ご意見がないようでしたら、ご感想も含めまして言っていただければと思います。

(選定委員) 社会科の教科書はやはり、いろいろな政治や主義、趣向の意見が入ってくるのでなかなか難しいとは思いますが、やはり全般的に先ほども申し上げたとおり、いろいろな各者の工夫があったりもしますし、最終的には学校現場において使いやすい教科書が一番なのかなとは思っています。ぜひプラスアルファの情報に関しては、今はいろいろな部分で学ぶことはできますので、やはり社会に関しては学校現場で使いやすいという部分を観点に考えたら一番良いのかなと個人的には思います。

(選定委員長) ありがとうございます。どうぞ、お願いします。

(選定委員) 今の学校現場での使いやすさというお話で思うのですが、若い教員が非常に多く、学習の進め方の上でこの教科書を見させていただくと、東京書籍は初めのところに、前学年で学んだことと学年で学ぶことが詳しく書かれています。1年を通してというか、教科書を通して見通しが持てるというのは、子どもにとっても、もちろん授業者にとっても良いことだなというふうに見させていただきました。

併せて感想なのですがすけれども、項目 3 のところにも書かれていたのですがすけれども、東京書籍は割と多くの学年にわたって金沢市であったり石川県が紹介されていて、とても興味・関心を持って学ぶことができる題材を扱っているなどと思って見させていただきました。

(選定委員長) ありがとうございます。報告の際には、先ほどのお二人のご感想も踏まえて報告させていただきたいと思います。他、いかがでしょうか。感想も含めて。もちろん修正等、ご意見がございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

(選定委員) 別の委員からもありましたが、本当に一般の方の意見が、特定のというか割と狭い範囲の分野に集中しがちな中で、全般的な話をしていかなければいけない会なので、やはりバランスを見ながらいろいろ判断していかなければいけない議論だなどと思いますし、そういったところでは本当に教えやすい教科書というのは非常に大事なのだろかなと思います。

あと、いろいろ意見が分かれるところについては、恐らく学校で学ぶところをベースとして、例えば家で、家庭教育の分野で補足して教えてあげるというのも大事なポイントになるのかなと思います。なかなか今の社会情勢だとか、領土・領海問題のようなものは、今の小学校の親世代がちゃんと理解できているかというところは若干不安なところもあるので、私たちの世代もそういったところで新しいことも含めてちょっと勉強し直して、子どもたちに家でも教えられるようにならないといけないという課題を持っているのかなという気がしました。という点で、バランスを取った議論ができたらいいなかなと思いました。という感想です。

(選定委員長) ありがとうございます。他、いかがでしょうか。感想でも結構ですが。

(選定委員) 先ほど分冊の話がありましたけれども、実は東京書籍だけ薄いのですよね。20 ページほど薄いのかなというふうに見えます。子どもたちはかなり重いものを持って動いている。確かに充実はしているのですが、やはりかなり重いのですね。各教科はそれぞれどんどん大きく重くなってきているのが事実で、なかなかそれだけを端的に取り上げるとそうなのなのですが、そういう観点からしても軽く、かついろいろな資料があります。先ほどもありましたように、いろいろなコンテンツや資料集等もございますので、そういうところも含めると、教科書だけで賄うものではないのかなと思っているところからすると、使いやすいものがないのではないかなと私としては思っています。

(選定委員長) ありがとうございます。他、いかがでしょうか。感想でも結構ですが、よろしいでしょうか。特に修正等のご意見はありませんでしたので、確認させていただきましたけれども、報告書 A の内容については特に修正のご意見がございませんでしたので、調査委員会の報告の内容を尊重するとともに、先ほど市民の方からもいろいろ、社会ですのでご意見がありました。二次元コードとか記載内容、資料から分冊、政治、国際、歴史、また授業での活用のしやすさとか、多岐にわたったご意見もありましたので、そういう意見も傾聴しながら社会の教科書の採択の答申を作成していきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

<異議なし>

それでは発行者が 3 者ですので、2 者ほど選んでということですがすけれども、これまでの審議から東京書籍、教育出版の 2 者ということになりますが、それでよろしいでしょうか。教育委員会の方で、3 者のうちこの 2 者ということで報告させていただきたいと思うのですが、よろしいでしょうか。

<異議なし>

(選定委員長) では、10分ほど休憩したいと思います。

<休憩>

⑤地図

<調査委員入室>

(選定委員長) 次は「地図」になります。調査委員長の方から報告をお願いいたします。

(地図調査委員長) どうぞよろしくお願ひいたします。ただ今より、教科用図書「地図」の調査結果について報告いたします。「地図」については、2者の発行者について調査いたしました。それぞれの特色を簡単にご説明いたします。

まず、東京書籍についてです。調査項目2の「思考力・判断力・表現力等を育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られている」という点で優れておりました。

73ページをご覧ください。左上の統計資料1の「おもな工業地域の工業生産」のグラフ資料と関連した資料地図が、本ページには豊富に提示されております。まず、この1の資料で生産額の大きな地域をつかんだところで、その場所はどこにあるだろうかという2の資料地図、日本の工業の分布でそれぞれの位置を確認し、さらに3、4では自動車工場や製鉄所の分布も確認できます。これらの資料を併せて見ることで、海岸沿いに大きな工業地帯が広がり、それは自動車工場や製鉄所の分布とも重なることが一目で分かります。

また隣の74ページをご覧ください。主な高速道路や空港、港の地図が載っております。関連して、交通網の広がりや輸送についても地図上で確認することができます。このように複数の資料を比較・関連させながら学習を深め、問題解決ができるように配慮されております。

次に調査項目6、「教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されている」という点についてです。77～80ページをご覧ください。ここでは4ページにわたり、世界史的な視点で日本の歴史を捉えるページが特設されています。6年生の学習でわが国の歴史を学ぶ際に、同時代の世界の様子を地図とともに捉えることができ、主体的に学びを深められるようになっていると感じました。世界史的視点を盛り込んだ歴史地図となっていますので、中学校・高校と学習の関連性を高めることができるよう配慮されていると考えました。以上が東京書籍の優れている点です。

続いて、帝国書院についてご説明いたします。調査項目1、「基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られている」という点で優れておりました。

7ページをご覧ください。地図帳の活用は3年生からとなり、学習指導要領にも「特に第3学年の使い始めにおいては地図帳の内容構成を理解できるようにする」とあります。これに対応し、今見ていただいております7～16ページは、3年生の学習ページとして、地図の成り立ちや方位、地図記号などが、地図の基本、地図の約束として写真やイラストを用いて丁寧に解説されています。7ページから9ページにかけては、スモールステップで絵地図から地図の世界をつなげてあり、発達段階に応じた学習ができるよう配慮されています。17～20ページをご覧ください。地図帳の使い方についても丁寧に扱われ、4年生からの活用はもちろん、どの学年の児童が見ても地図を使いこなすための基礎・基本が身に付けられるようになっています。

次に調査項目5、「現代的な諸課題への対応や各教科等との関連に配慮が見られる」という点についてです。99～102ページをご覧ください。自然災害を知り、主体的に防災意識を高められるように、まず99、100ページでは日本の自然災害を地図上に位置付け、世界の地震の分布を示してあります。続く101、102ページでは、自然災害への備えや取り組みを示し、防災マップの具体的な作り方を掲載し、自分の身を守るために何ができるか考

えられるようになっており、防災を自分事として捉えることができるよう配慮されています。以上が帝国書院の優れている点です。

(選定委員長) ありがとうございます。では委員の皆さん、質問等お願いいたします。

では、私の方から。社会科で使うことは多いと思うのですが、先ほどの防災的な側面でいうと、場合によっては理科的なものや保健などにも関わってくるかもしれませんが、他の教科に結構関わってくるかなという記載で、どちらが多いとかそういうものはございませんでしたか。

(地図調査委員長) どちらの地図上にも、外国の国の名前は英語記載がなされておりました。また家庭科と関係するかもしれませんが、東京書籍の 82 ページをご覧ください。「日本の食文化」ということで特色ある郷土料理というページがございまして、家庭科と関連させて使うことができるかと思えます。

(選定委員長) ありがとうございます。委員の皆さん、他、いかがでしょうか。

そうしましたら、ちょっと個人的な感覚になるのかもしれませんが、どちらの地図の方が見やすいだろうかなと。これは個人的な見解で、色合いや文字など、子ども達にとってどちらの方が見やすいのか。あまり差はないということでも結構ですけれども、それをお伺いしたい。

(地図調査委員長) 率直に申し上げます。金沢市ではずっと帝国書院の地図帳を使っておりましたので、色合い的には帝国書院の少し淡い色のものが個人的に見やすいかなと思えます。東京書籍の方に関しましては、色合いが非常に鮮明になっております。それが見やすいというお子さんもいれば、かえって鮮明な故に、東京書籍の 41 ページを見ていただいておりますが、バックの色、背景の色が東京書籍の方は帝国書院に比べて非常に濃いように思えます。そうしましたら、この上に書いてある文字もやや大きくはなっているのですけれども、少し読み取りにくいお子さんがいるのではないかなと感じております。

また、別の点でこちらというお話なのですが、東京書籍も帝国書院も、初めの方のページには世界地図が大きく取り上げられております。今見ていただいているのは東京書籍の 1 ページ目の世界地図なのですが、これは全て国の色を、3 年生、4 年生でも捉えられるようにそれぞれ変えまして、全ての国の名前が記載されています。これに対して帝国書院の 1 ページ目を見ていただきますと、同じく国ごとに色は変えてありますが、国の名前は全ての国は記載されておられません。情報量を抑えることで、地図帳の使い始めの 3 年生でも使いやすいのかなと感じました。もちろん帝国書院の巻末の方を見ていただきますと、最後のページには世界各国の詳しくなっている世界地図も載っておりますので、併せて使うことが可能かと思えます。以上です。

(選定委員長) ありがとうございます。他、委員の皆さん、いかがでしょうか。

(選定委員) 東京書籍の方だと中部地方の扱いが 35 ページからで、帝国書院の方は 57 ページからということで、金沢がどういうふうに映ってくるのかなというのを見たときに、東京書籍の方が 1 ページ進むと、北陸 3 県の扱いがあるのですよね。帝国書院の方は中部地方だけということで、割と端っこ、ページ区切りのところにもかかってしまっているということで、全国のことを学ぶことなのでどれだけ大事なのか分からないのですけれども、地元のことを扱うときに石川県、北陸 3 県が独自に切り取られて掲載されているというのは、使いやすさとしてはこういうのはあるのとないのとどういう特徴の違いがあるのかなというのが 1 点。

一方で中部地方を見たときに、東京書籍に比べて帝国書院の方は、いわゆる高低差が色分けされて強調されているので、例えば北アルプス周辺などの山の地形が意識しやすいとか、そういった地形的な意識のしやすさもあるのかなと思うのですが、こういったあ

たりの特徴というのは、使い勝手というか、授業で使う上ではどちらが使いやすいというのがもしあったら教えていただきたいのですけれども。

(地図調査委員長) では、今ほどの2点のご質問に対してお答えいたします。まず石川県の扱いですけれども、今見ていただいております地図は、どちらも中部地方として、石川県がやや左寄りに載っております。おっしゃったとおり、東京書籍の方を見ていただきますと、続くページには福井、石川、富山の北陸3県が出ております。東京書籍の37ページですね。この37ページを見ますと、石川県の様子が確かにつかみやすいのかなとは思いますが。

これに対して帝国書院は、このような3県を扱ったページはございません。ただし、帝国書院に関しましては、地図の初めの方に3年生向けに「広く見わたす地図」というページが特設されております。帝国書院の22ページをご覧ください。「広く見わたす地図」の九州地方が出ておりますが、この地図で石川県を探しますと25ページになります。こちらの25ページ、「広く見わたす地図」で見えていただきますと、情報量は確かに先ほどの福井、石川、富山の3県に比べて、3年生でも使えるように減らしてございますが、例えば空港が幾つある、北陸新幹線はここ通っているといった、社会で落としてはいけないことがこの地図でも確認できますので、先ほどの細かい地図と併せて使うことで、東京書籍と何ら変わらないことをこちらの地図でも学習できると考えております。

2点目のお話です。先ほど高低差がどうなのだろうというお話がありましたが、東京書籍でも帝国書院でも、必ず各ページには土地の高さということで表記がございます。今見ていただいているのは東京書籍35ページのちょうど中部地方が載っているページなのですが、左上に海の深さ、陸の高さというふうの色分けされて、土地の高低差が明記されております。これに合わせてこの地図は全てのページも同じような形で、土地の高さが分かるようになっております。

帝国書院の地図でも同じように、左側に土地の高さについて色分けされていることが示されており、色の濃い薄いは若干ございますが、どちらの地図帳を使っても、土地の高低について、あるいは土地利用についてはつかむことが可能かと思えます。以上でございます。

(選定委員長) 他、いかがでしょうか。ご質問をお願いいたします。

(選定委員) 興味といたしますか、教えていただければと思ったのですが、先ほどからずっと議論している中で、二次元コードの活用というのがあります。意外とマップといえば僕らからするとGoogleマップみたいな、もちろんChrome端末を使っているので、割とGoogleマップなのかなと思いつつも、見ていると二次元コードの活用の充実というのがあまりなくて、恐らく地図と地理との違いといいますか、Googleマップだけ見ても情報が載ってこないの、広く見た部分ではマップだとかGoogle Earthとかは何となく分かると思うのですが、そこに情報がないというので、こういう教科書の良さがあるのかなと思ったときに、逆に使いにくさとか、今後マップとの併用で使っていくという可能性はあるものなのかな、そういうのは全くないのかな、どちらなのかなと思いつつ。

(地図調査委員長) 二次元コードからお話しさせていただいてよろしいですか。今ほど話題に出ました二次元コードなのですけれども、確かに私たちも子どもたちに社会科で提示するとき、Googleマップを提示することも多いです。ただ、今回の地図帳を見ましたところ、帝国書院の地図帳の地図に付いております二次元コードを見ますと、各都道府県ごとに地形や土地利用など、テーマを絞った地図がいろいろな種類用意されております。多様な活用ができますし、意図的に選択し調べることができると考えております。

今、帝国書院の二次元コードを開いてもらっています。中部地方の石川県を見ますと、まず地図帳に載っているものと同じ地図が出ております。その下、「地形のようす」というものを見ていただきますと、今度は「県のようす」とは違ってどんな高低差も出ており

ます。どんなふうになっているかなということも見られますし、その下に行ってもらってもいいですか、土地利用はあまり変わらなかったですね。「県の市町村」をお願いいたします。市町村になりましたら全ての市町村名が出てくるというふうに、このようなものが充実しております、先ほどおっしゃった Google マップで見たい部分、こちらの二次元コードを使って子どもたちに考えさせたい、活用していきたい部分が可能かと思えます。

これに対しまして東京書籍の方でも、このような各県ごとのたくさんの地図は用意されておりませんが、帝国書院にはない都道府県ごとの白地図が用意されておりまして、学習テーマに沿って活用できる部分はあるなというふうに感じております。以上でございます。

(選定委員長) ありがとうございます。他、ご質問いかがでしょうか。

(選定副委員長) 金沢市と関連するような記述がどれだけあるかということの違いがどの程度あるのかという。例えば帝国書院ですと 55 ページに「江戸時代の結びつき」ということで、加賀藩の参勤交代のなどの例が記述されたページがあったりしますが、その点について教えていただければと思います。

(地図調査委員長) 今ほどご意見を頂きましたとおり、帝国書院の 55 ページには「江戸時代の結びつき」という、割と 6 年生の歴史の学習で使われるページになると思いますが、ここでは加賀藩の参勤交代の様子、何日かかってどこまで行ったのか、どんなルートを歩いていったのかということが示されておりまして。私たちの住む金沢だと子どもたちも見てくださいと思います。

それ以外に、なかなか金沢という部分ではどちらの地図の会社も見つけることができませんでしたが、47 都道府県の統計資料が、帝国書院でしたら 111 ページにございますのでご覧ください。「日本の統計」というページを見ていただきますと、17 番目に石川県のことが横にずっと書かれております。その横をたどっていきますと、主な伝統工芸品ということで金沢の加賀友禅という記載がございます。なかなかたくさんは見つけられないのですが、これと同様に東京書籍の方では、83 ページに同じような各都道府県の統計が出ております。こちらも 17 番、石川県をたどって行きましたら、加賀友禅、金沢仏壇、金沢箔という記載がございます。ずばり金沢市と分かるような書き方ではございませんが、金沢に関するものが三つ載っております。以上です。

(選定委員長) よろしいでしょうか。他、いかがでしょうか。ご質問ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。では、調査委員長、ありがとうございます。ご退出していただければと思います。

<調査委員退室>

(選定委員長) それでは事務局から、当該種目の資料 B、C、D についてご説明をお願いします。

(学校指導課長) それでは、資料 B の 4 ページをご覧ください。東京書籍については、項目 4 で帝国書院と同数の意見が挙げられております。帝国書院につきましては、項目 1、2、3、5 で東京書籍よりも多くの意見が挙げられております。項目 4 につきましては東京書籍と同数の意見が挙げられております。意見の総数についても、東京書籍より多くなっております。

資料 C の市民からの意見はございませんでした。以上です。

(選定委員長) ありがとうございます。では、「地図」について審議したいと思います。報告書について付け加えたい意見、修正などございましたら、お願いいたします。ご感想

等も含めて構いませんが、ご意見等ございましたら。いかがでしょうか。ご感想でも結構です。お願いいたします。

(選定委員) 先ほど委員長からもお話があったように、われわれ教員としてはどうしてもこの間、帝国書院をずっと使っているものですから、そういうところからすると使いやすさ、見やすさという点では、慣れているという意味ではそうかもしれない。確かにこうやって見ると、どうしても客観的に言いにくいのですが、確かに情報量が多く、地図そのものの、例えば土地の高低差であったり、そういうところがなかなか見にくいという観点からしても、帝国書院の方がちょっと一理あるのかなと思っていること。

それから、私は実は索引というものが好きでして、いわゆる統計です。よく見ていただくと、統計については帝国書院は2021年のもの。ところが、東京書籍は2020年のものになっているのです。1年違えばという話もあるのですが、これから4年、5年使うものですので、そういう観点からすれば少しでも新しいものの方が私としてはいいのではないかなと思います。

(選定委員長) ありがとうございます。どうぞ、お願いいたします。

(選定委員) 見やすさはそれぞれ個人差があるとは思いますが、それぞれの地図帳にある、帝国書院でしたら「地図マスター」、東京書籍でしたら「マップでジャンプ」というのは、一人で地図帳に親しむことに関してとても有効なものだと思って見させてもらっていたのですが、少しずつなので全部見たわけではないのですが、帝国書院の「地図マスター」の方が地図の知識・技能が身に付くような項目が少し多いのかなというように感じました。以上です。

(選定委員長) ありがとうございます。他、ご意見も含めましていかがでしょうか。私の感想になりますけれども、帝国書院の方は、最初に3年生で主に使うのかな、非常にシンプルな地図ですね。導入にはやはり良いのかなと。われわれはどうしても、最近それこそ二次元コードや何やかんやと情報が多過ぎて、結局何が大事なのか分からないのではないかと。これからの時代というのは、どの情報をそぎ落として本質的なものというか、教育用語では基礎・基本的なものを、まずはしっかり枠組みを作った上で、場合によって複雑なものというふうにしないと、枠組みができないままいろいろなものを与えられても、子どもたちも多分混乱するかなと思うので、そういう意味では導入の部分でのシンプルな地図というか、それは非常にいいなという感想を持っております。感想です。他の委員の皆さんいかがでしょうか。

それでは、特に修正等のご意見もなく、幾つか感想も出ましたので、確認させていただきますけれども、「地図」に関しまして、報告書Aの内容について特に修正等ございましたので、調査委員会の報告書の内容を尊重して、「地図」における教科書採択の答申を作成したいと思います。それでよろしいでしょうか。

<意義なし>

(選定委員長) それでは次に移らせていただきます。次は「理科」ですね。「理科」について審議いたします。調査委員長に入ってください。

⑥理科

<調査委員入室>

(選定委員長) では、理科について、調査委員長からの報告をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(理科調査委員長) ただ今より、理科の教科書の調査結果について報告いたします。理科については、5者の発行者について調査いたしました。それぞれの特色を簡単に説明いたします。

初めに、東京書籍です。東京書籍については、児童の主体的な問題解決学習を実現できるような構成で、学習の流れが見える化され、見通しを持って学習できるように示しています。6年生の教科書154～156ページをご覧ください。導入場面での写真は見開きで、児童が自ら課題が見つけれやすいように工夫されています。そして、「思い出そう」において、前学年や他教科との関連を詳しく示し、問題解決する際に活用してほしい既習事項が分かるよう配慮されています。また、4年生の教科書140～141ページをご覧ください。「広げよう！ 理科の発想」で学習をより広げた事象を紹介し、児童が興味・関心を持って自発的に調べ、説明したくなるよう工夫されています。

続いて、大日本図書です。大日本図書については、児童の興味・関心を生かした発展的な学習の扱いが充実しています。6年生の教科書の111ページをご覧ください。「深めよう」では他の実験方法が手順とともに示されて、児童が自発的に調べ説明したくなるよう工夫されています。また、5年生の教科書の136ページをご覧ください。「理科のたまたまばこ」に「でんとう」というアイコンが設定され、学習内容と伝統文化を深く関係付けて考えられるよう工夫されています。

続いて、学校図書です。学校図書については、5年生の教科書116～121ページをご覧ください。現代的な諸課題への対応として災害に関する内容が別項目で設定され、「もっとしりたい」で災害への対処を掲載するなど、防災教育の充実が図れるよう工夫されています。また、3年生の教科書99ページをご覧ください。図や挿絵がはっきりした色合いで見やすく、実験の手順を写真と対応させて確認し、実験を正確に行えるよう工夫されています。

続いて、教育出版です。6年生の教科書の34ページをご覧ください。「結果から考えよう」で常に予想に立ち返り、視点を持って考察し、思考力・判断力・表現力などが確実に育まれるよう工夫されています。また、5年生の教科書122ページをご覧ください。現代的な諸課題への対応として、災害に関する内容が別項目で設定され、自然災害の資料が多く掲載されるなど、災害への幅広い備えについて学習できるように工夫されています。

最後に、啓林館です。啓林館については、基礎・基本の定着、学習内容を確実に身に付けられるような記述の充実が図られています。6年生の教科書の45～46ページをご覧ください。単元末の演習問題で確実に定着できるようにして、用語入りの手書き風のまとめノートが良いお手本となっております。また、4年生の教科書の39ページをご覧ください。学習のつながりがよく意識され、学年相互間の関連に配慮が見られます。「思い出そう」では、前学年の振り返り、既習内容がよく分かります。

以上、5者について調査したことをお話しさせていただきました。

(選定委員長) ありがとうございます。では、委員の皆さま、ご質問等お願いします。

(選定委員) 教科をまたぐご質問で、前提として教えていただきたいのですが、前に学習指導要領が変わったタイミングで入ったプログラミングの教育について、主に教科書に載ってくる教科としては理科と算数なのかなというふうに思っていて、その視点から教科書をどう見たらいいのかなというのがちょっと分からなかったのです。

ただ、金沢市は教科書以外にも内容を作ってプログラミング教育に取り組んでいたと思いますので、現状どのような形で金沢でプログラミングの教育が行われていて、教科書はそれに対してどういうふうに使われているのかという、教科書の中のプログラミングに関するところを評価する上で、金沢はどうなっているかというのを前提としてちょっと教えていただければと思うのですが。

(選定委員長) これは事務局から。では、学校指導課長、よろしく願いいたします。

(学校指導課長) 学習指導要領の改訂に伴いまして、プログラミング教育がこれからの社会を生きる子どもたちにとってグローバル化や IT 化する情報化社会では必要な力ということで、プログラミング教育は入ってきたと思います。

プログラミング教育については、本市では小学校プログラミング教育の円滑な実施に向けて「学習指導要領」及び、本市が作成した「小学校プログラミング教育の手引き(第二版)」等に基づき、実施しております。プログラミング教育の目的というのは3点あったかと思えます。1点目はプログラミング的思考を育むこと、2点目はプログラムの働きの良さや、また情報化社会のコンピューター等の情報活用能力を身に付けていくということ、3点目は各教科等の内容を指導する中で論理的思考を身に付けていくという、この3点です。

本市の特色ある内容として、全小学校で、第1、2学年では、余剰時間を用いて、主に手指を用いて、楽しみながら感覚的にロボットを操作する学習を実施しています。第3、4学年の総合的な学習の時間では、情報に関して探究的に学習するカリキュラムを策定し、小型マイコンボードを用いてロボット等を動かす学習を実施しています。第6学年の総合的な学習の時間では、金沢ふるさと学習「金沢のめざす都市像を調べ、金沢の魅力を発信する」の単元において、金沢の魅力についてコンピューター等活用し、文字、音声、アニメーション等で紹介するプログラミングを実施しています。

(選定委員) そうしますと、理科の授業でも、各者の内容として特に電気のところに出てくると思うのですが、それを使ってやっているというのはどの者も変わらず同じような感じになるわけですか。

(学校指導課長) 教科等においては、学習指導要領に基づいての実施となります。

(選定委員) そうしましたら、それを踏まえて委員長にご質問なのですが、今回、特に効率的な電気の使い方という文脈かなと思うのですが、プログラミングの時間で使いやすい教科書みたいなどころでいくと、金沢の今持っている教材ですとかそういったところを踏まえて、そのあたりの評価というのはどんな感じだったのですか。

(理科調査委員長) 各者ともにプログラミングの特設のページがありますが、特に目的意識というところで、東京書籍、啓林館、学校図書が優れている感じがしました。どの教科書もセンサーブロックを使っていたのですが、東京書籍や啓林館では、課題設定が電気を効率的に使うための工夫や電気を無駄なく使うプログラムを作ってみようということで、目的を大変大切に扱っているような感じがしました。漫画と写真を提示しながら、ストーリーを考えて活動が自然とできるようにしていたのが印象的でした。他の発行者では、体験してみようという感じがちょっと強かったかなという気がしました。

(選定委員) すみません、聞き漏らしてしまったので。東京書籍ともう1者、評価が高い発行者はどこですか。

(理科調査委員長) 啓林館です。

(選定委員) 啓林館。ありがとうございます。

(選定委員長) よろしいでしょうか。他、ご質問いかがでしょうか。どうぞお願いします。

(選定委員) ありがとうございます。項目5番の現代的な諸課題の対応のところなのですが、各者、災害や防災教育の点に絞って記載されているかなと思えますが、例えば環境教育や生物多様性のような視点での記載についてどのように評価されましたか。

(理科調査委員長) SDGsなどは、各者巻末の方に載っていたり、単元の中で扱っていたりさまざまだったのですが、特に先ほど説明したように、2者については、学校図書と教育出版においては、特に災害に関するところ、自然災害などに着目して、流れる水の働きではなくて別項目として扱っていたのがとても際立っていたかなと思います。

(選定委員長) 今の環境的な問題などは他にあまり差はなかったということなのですか。

(理科調査委員長) はい。日常生活や現代の諸課題として扱っているというのは、今回の発行者においてもたくさん見受けられました。

(選定委員長) よろしいでしょうか。他、ご質問いかがでしょうか。

(選定副委員長) 同じく調査研究項目5番の現代的諸課題の対応に入るかなと思うのですが、違うかもしれません。理科の内容を仕事との関係であったり、科学技術とのSTEM教育とかそういう言葉を聞くと思うのですけれども、そういう応用的な側面、将来の子どもの職業との関連での記述について、そういう観点で評価はされましたでしょうか。

(理科調査委員長) 例えば学校図書の方で、今ほど話をしました防災のところでは151ページ、「仕事とくらし」というところで、地震と建築士の仕事とか、他の人や動物の体などでも、獣医さんの仕事などを通して具体的に子どもたちに示しているところが多かったのかなと思います。

(選定委員長) 特に学校図書の方がということですかね。大体どの教科書もということなのですか。

(理科調査委員長) それぞれ特徴があったので、どことは言えないですけど、大体どの教科書でも仕事や暮らしという形で示されていたかなというのが特徴でした。

(選定委員長) よろしいですか。他、質問はいかがでしょうか。

(選定委員) 2点よろしいでしょうか。1点目、これは本当に話し合いの中で出てきたらおっしゃってください。教科書の大きさが違いますよね。これについて議論があったのかどうかということが1点目。

2点目ですけれど、項目9番の金沢型学習スタイルに基づく学習が展開できるような工夫というところで、私が拝見すると、大日本図書が一番評価が高いと思うのですが、この根拠がどこにあるのかということをお教えいただければと思っています。

(理科調査委員長) まず教科書の大きさのことですけれども、東京書籍と大日本図書の2者が大きいということで、確かに実験観察の説明をしたときに小さいよりも大きい方が見やすいのですが、実際に実験をするときは教科書を閉じて、机の中に入れて安全面に配慮して実験をしますのです、その点は大きい小さいは関係ないのかなと。ただ、大きい場合は実験手順が縦に示されていることが多いので、見やすい、説明しやすいというのは印象としてはありました。

二つ目は、金沢型学習スタイルの点ですか。

(選定委員) 先ほどの説明から、大日本図書が一番評価が高いと感じましたが、どんな根拠の中でこういう評価のされ方をしたのか、そのご議論についてお聞かせいただければと思います。

(理科調査委員長) 「考えよう」というところで、結果から分かることを文や絵、グラ

フを基にして話し合う様子がたくさん掲載されていて、協働的な学びという点では大きな差というよりも、そういったところが少しクローズアップされたのかなということです。

(選定委員長) では、私の方から。理科には実験があります。専門の方は上手にやると思うのですが、苦手な方や経験が少ない方が、問題解決的な学習を展開するという視点から見ると、どの発行者が優れていますか。

(理科調査委員長) 教育出版の方で、一番最初に説明したように、「結果から考えよう」で常に予想に立ち返って視点を持って考察したり、思考力・判断力・表現力などが確実に育まれるように工夫してある点では、専科の先生でなくても理科としての問題解決の過程が分かりやすいというのが、印象として教育出版がちょっと優れているかなと思いました。

(選定委員長) ありがとうございます。他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。では、調査委員長、ありがとうございました。

<調査委員退室>

(選定委員長) それでは、事務局の方から当該種目の資料 B、C、D についてもご説明お願いいたします。

(学校指導課長) それでは、資料 B の 6 ページをご覧ください。東京書籍については、項目 1、項目 2、項目 4、項目 5 で全発行者の中で最も多くの意見が挙げられております。意見の総数につきましても、最も多くの意見が挙げられています。大日本図書については、項目 2 と項目 4 で全発行者の中で 2 番目に多くの意見が挙げられております。意見の総数につきましては、東京書籍に次いで 2 番目に多くの意見が挙げられています。学校図書です。項目 3 で全発行者の中で最も多くの意見が挙げられております。項目 5 につきましては、東京書籍に次いで 2 番目に多くの意見が挙げられております。意見の総数につきましては、全発行者の中で 3 番目に多くなっております。教育出版についてです。項目 1 と項目 2 で全発行者の中で 3 番目に多くの意見が挙げられております。啓林館についてです。項目 1 と項目 3 で全発行者の中で 2 番目に多くの意見が挙げられているという状況です。

資料 C の 2 ページをご覧ください。教科書展示会に寄せられた市民の意見のまとめです。左側中段をご覧ください。市民からは、学習の系統性についてご意見がありました。なお、移動展示につきましては意見等はありませんでした。以上です。

(選定委員長) ありがとうございます。では、理科について審議したいと思います。ご意見、修正も含めまして、ご意見等ございましたらお願いいたします。内容ですとか、感想でも結構ですが、いかがでしょうか。どうぞ。

(選定委員) 先ほど質問させていただいた点と重なるのですが、現代的な諸課題が、今は災害が多いということで災害への備えという点に各者絞られて記載されているとは思いますが、先ほどもお話しさせていただいたとおり、理科なので環境問題であったり、生物多様性のような点が少し加わってもよいのかなというふうに思います。

(選定委員長) 何かそれに関して、どこか項目の内容で表記を変えたらいいという部分は特にございませんか。ただ、ご意見としてそういう視点が大事だという感想やこういう意見があったということでよろしいですか。それとも何か表記的に何かございますか。それまではございませんか。

(選定委員長) もしご自身で読まれて、ここの部分は例えば環境についても書いてあるからというような文言を加えて優れていることを表現することも可能かと思うのですが。

もしお気づきの点がありましたら。

(選定委員) ちょっと個人的な意見になると思うのですが、先ほどの委員が言われたプログラミングの要素が理科に入っているという部分で、先ほどのお答えで啓林館と東京書籍というお話でしたけど、東京書籍は1ページしかなく、啓林館と多分教育出版が6ページあって、スクラッチなども掲載されているので、よりリアルなのかなというのは個人的に思いました。

なので、もうちょっとプログラミング的思考やその辺の要素を組み入れた教科書の方がいいのではないかなというのは個人的には思いました。以上です。

(選定委員長) 何かこの文言を入れたりしたらいい部分はありますか。今、「教育出版が」と言っておられましたけど、文言として入れたらいい部分は何かございますか。

(選定委員) そうですね。やはりこれは電化製品やプログラミングが活用される状況に応じて動作しているのを気づきで学ぶというのが、文科省から出ている文言であったと思うのですが、そちらの方の評価項目といたしますか、それが今のこれだったら、もしかしたら逆に表現されていないところもあるのかなと思いましたが、個人的には教育出版が一番丁寧に書かれているかなというのは個人的に思ったというだけです。

(選定委員) もしかしたら関連するかもしれないのですが、いいですか。

大体近い話題なのですが、理科の教科における項目5番の現代的な諸課題とは何かという設定の仕方、考え方が大きく分かれる意見なのかなという気がします。例えばなのですが、東京書籍5年生の教科書の9ページを見ますと、プログラミングだけには限らないのですが、まず東京書籍の教科書は全般的に学習用端末を理科の授業に上手に活用していて、動きがあるものは写真をうまく使って記録を取って、それをまとめるところにも端末を使うのもいいのではないかという形で、導入された端末を上手に活用しながら学習を進めていくアプローチが提案されているのが特徴かなと思って見ていました。ということで、現代的な諸課題のところ、導入された端末を上手に使って今までできなかった学習のスタイルを実践していくことをねらっているとすれば、そこは評価できるポイントなのではないかなという気がしました。

もう1点、冒頭ご質問させていただいたプログラミングに関しては、あまり重視して扱っていない教科書と、特に電気のところに理科の場合は出てくるわけなのですが、そもそもプログラミング的思考で効率的な電気の使い方をすることは大事だよという文脈があってプログラミングに入っていくというところを見ると、例えば学校図書の6年生の198ページにつながる流れというのは、しっかりそのあたりの前提が説明された上で入ってくるところが大事なポイントとしてあるのかなと思って見ていました。

実際に学校でやる場合は、それぞれ導入している機材・教材などによっても違うと思うので、そのまま教科書に載っていることをやるわけではないのかもしれないのですが、使いやすい教材が出てきて、そのあたりの流れがしっかりしているところというのは、今の現代的な諸課題というポイントの違う視点として、特徴的で評価できるポイントなのではないかなということで、項目2番の話は考えられるのではないかなという気がします。

(選定委員長) そうでしたら、東京書籍もそういう観点から言えば、評価は同等として捉えてよいのではないのでしょうか。教育出版も同じような評価がなされていますので。他の委員の方で何かございますか。同じく現代的な課題でも。

(選定委員) それぞれ巻末を中心には取り上げられているのかなと思っています。東京書籍の6年生の183ページに、宇宙飛行士の山崎直子さんからのメッセージ、「地球に生きる皆さんへ」ということで、私たちが長い間にわたって生命をつないできたということや、予測困難な時代だけれどもということ、そしてSDGsの目標をみんなで共有し力を合わ

せていけば、さまざまな地球の課題をきつと解決していけるはずですよというメッセージが例えばあったりとか、174 ページに「地球に生きる」というところが設定されているということ。これは他の発行者でも同じように、例えば学校図書の方でも 6 年生の 212 ページ、課題を見つけて持続可能な社会の実現に向けてどのような取り組みがされているかということ解決していく、こんな設定にはなっているかなというふうに思いました。

(選定委員長) 評価的にはどうでしょうか。もう少し東京書籍の評価を見直した方がいようなご意見もありますけれども。付け加えるとすれば、その他プログラムや環境に関わる内容が充実しているようなところを後ろに付けてもいいかなと思いますが、文章表現についてはまたこちらの方で調整させていただきますけど、いかがでしょうか。今の委員の皆さまのご意見を聞くと、東京書籍、教育出版についてはプログラミング等の課題、内容についても充実しているというのを後ろに付けてもいいのかなと思いますし、東京書籍はさらに環境問題等についての内容、プログラミングや環境問題等についての内容も充実しているという書き方がいいかなと思いますけど。

それでは、選定委員会の議論を踏まえて、東京書籍の報告書を、先ほどの意見を付け加えてまとめたいのですが、よろしいでしょうか。

(学校指導課長) そうしましたら確認ですけれども。理科の調査報告書のところで、項目 5 番のところでは現代的な諸問題の対応ということで、ここに書いてあります災害などに触れて書いているところについて、東京書籍の評価をもう少し教育出版などと同等の評価を行うことと、もう一つはプログラミング的思考を育成していくということで、東京書籍であったり教育出版の扱っている内容が他のところと比べて評価が高いという報告を教育委員会で行うということによろしいでしょうか。

(選定委員長) はい。

(学校指導課長) 分かりました。

(選定委員長) その内容が充実しているという。どうぞ。

(選定副委員長) 例えば今、環境教育、プログラミング的思考の育成というふうになっていますけど、私も十分整理・確認できていませんけれども、他者でも例えば大日本図書ですと、目次のところに「自然の大切さについて考えよう」とか、環境という記号を使って環境に関連するような内容が子どもたちにも先生方も分かるように明記されてもいますので、どの発行者がその点を重視しているかという判断は慎重に行わなければいけないのではないかなと思ったところです。

(選定委員長) それに関しまして、どうでしょう、検討されて。理科をご専門にされている部分もございますので。理科ですので環境問題がどの教科書にも実際書かれているのは当然といえば当然なのですから、少しご専門的な立場から、先ほどの発行者の内容がやや書かれているという感じなのでしょうか。

(選定委員) どの教科書も SDGs に関するようなことは触れられているとは思いますが、宇宙から見た地球みたいな視点で書かれているのは東京書籍の方が他者より優れているのではないかと私は思います。

(選定委員長) ありがとうございます。そういうことですけど、よろしいでしょうか。特にそれに対して。

(選定副委員長) 慎重にどの者がどうかという判断を行うことが必要でないかなという

一般論を申し上げました。

(選定委員長) 分かりました。ありがとうございます。委員の皆さま、これに関しまして、ご意見はどうでしょうか。委員の皆さまのご意見を尊重して、慎重に期するということがありますけれども、ご指摘はごもっともだと思うのですが、東京書籍の方のプログラムや環境問題、プログラムも含んで環境問題について内容が充実しているということで、評価を見直し、優れている部分を付け加えるということで。学校図書もそうでしたが、環境の内容が少し充実している。そこは少し加えたり、教育出版もプログラミングのところの内容が充実しているという文言を加えておきたいと思います。私の方も、いろいろ入っている方が、現代的諸課題についてどう捉えたかというときに説明しやすいかなとは思っています。

よろしいでしょうか。そのように修正させていただきます。他、ご意見、修正等ありましたら。また感想も含めて結構ですが、よろしいでしょうか。

そうしましたら、先ほど確認していただきました調査委員会の報告書に対して、ただ今指示された内容について修正を加えさせていただきます。そして市民からの学習内容の系統性の意見なども傾聴しまして、理科における教科書の採択の答申を作成したいと思います。よろしいでしょうか。

<異議なし>

(選定委員長) ありがとうございます。そうしましたら、5者ありますので3者ほど、選定委員会から挙げたいのですが。調査委員長の報告からは、東京書籍、大日本図書と啓林館ということになるのですが。先ほど教育出版などのご意見や、評価として注目すべき点もご指摘がありました。

加えて、報告書 B の方ですね。各学校での指摘内容を見ますと、教育出版、啓林館がちょっと横並びなのですね。学校図書も含めましてほぼ変わっていないので、どうしようかなと先ほどから思っていて。先ほどからもご指摘があった教育出版も他の項目でもかなり評価が高く、啓林館と同等な評価ですが、何かこれに関してご意見はございますか。はい、どうぞ。お願いします。

(選定委員) 私はやはり8番、9番の項目が一つ大きなポイントかなと思っております。金沢市の教科書ということから鑑み、調査委員会の報告書で比べてみると教育出版の方が適当ではないかなというふうに感じているのですが。

(選定委員長) そういうご意見でございますが、いかがでしょうか。他の委員の皆さま、ご意見はございますでしょうか。よろしいでしょうか。では、今ほどの意見を尊重させていただいて、確認させていただきますけれども、東京書籍、大日本図書、教育出版という三つを選定委員会としては報告したいと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。

<異議なし>

(選定委員長) ありがとうございます。では、理科については終了させていただきます。そうしましたら、「生活」ですね。

⑦生活

<調査委員入室>

(選定委員長) それでは、「生活」の方を調査委員長から報告していただきたいと思っております。では、よろしく申し上げます。

(生活調査委員長) 生活科については、6 者の発行者について調査いたしました。それぞれの特色を簡単に説明いたします。

まず、東京書籍です。東京書籍の優れた点は、生活科で育成すべき資質・能力を吹き出しやワークシートで具体化している点です。下巻 14、15 ページをご覧ください。どの単元でもそうですが、学習内容と教師の発問例をページ上段で示し、教師が指導計画を作成したり学習評価をしたりする際にも役立つようになっています。また調査研究項目 2 に係ることとして、下段の「学びをふかめる」コーナーでは、児童が見方・考え方を生かして協働的に学ぶ姿が描かれていたり、ワークシートに気付きの質が高まるような例が書かれていたりして、学びの見通しを持てるようになっています。

上巻の 1 ページをご覧ください。調査項目 6 においては、スタートカリキュラムを生活科の学習活動を中心に編成し、全ての学校で適切に実施できるようにしています。ページ下段には保護者向けのメッセージが掲載されており、児童と保護者が一緒に教科書を開いて学校生活への期待を高めるとともに、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を具体化しています。さらに、調査項目 1 に係ることとして、上下巻とも巻末には「かつどうべんりてちょう」を掲載し、安全に関わる約束や生活習慣、学び方など、基礎・基本が確実に習得できるように工夫されている点も優れているといえます。

次に、大日本図書です。大日本図書の優れた点は、児童目線でのダイナミックな写真が豊富に掲載され、児童の興味・関心を刺激し、実際の活動への意欲や期待感を引き出すようになっています。上巻 50、51 ページをご覧ください。夏の青空の下、水遊びを楽しむ児童の姿から、自分もやってみいたいという意欲をかき立てられると同時に、夏の季節への期待感も高まります。また、上巻 109 ページをご覧ください。109 ページには、調査項目 9 に係ることとして「せいかつことば」が載っております。115 ページには「きらきらことば」が載っております。そういったコーナーを設けることで、児童の語彙力向上、言語能力向上を図っています。このような情報から言語活動の充実が図られ、児童の思考力・判断力・表現力の育成につながり、深い学びへと導くとともに、上下巻の巻末にある「がくしゅうどうぐぼこ」コーナーでは、豊富な資料で児童の学びをサポートしています。

次に、学校図書です。学校図書の優れた点は、児童につけたい力が明確に表されているところです。下巻 113 ページをご覧ください。上下巻とも巻末に「学び方図かん」が設けられています。ここでは学び方を「見る」「話す」「聞く」「考える」など九つの視点に整理し、写真や絵図などで分かりやすく示されています。また、下巻 74、75 ページをご覧ください。調査項目 3 に係ることですが、「もっとつづきたいな」というコーナーが設定されており、これまでの学習を通して得た知識や技能を基に、児童のさらなる興味・関心が広がるよう導かれています。

次に、教育出版です。教育出版の優れた点は、学びの連続性を大切にしながら、児童の自発的な学習が展開されるような教科書になっていることです。下巻の 23 ページをご覧ください。調査項目 3 に係ることですが、単元の導入では「わくわくスイッチ」を設け、児童の経験や意欲を喚起し、主体的に活動の動機付けができるようになっています。ページ右下の黒いキャラクター「いぐら」が、「はっけんロード」を進みながら気付きを促し、気付きの質を高めることができるよう、学習をナビゲートしていきます。下巻 33 ページをご覧ください。「はっけんロード」のゴールには「ぐんぐんはしご」が配置されており、活動を振り返っての自己評価を促しています。このような学習を繰り返すことで、自発的な学習を展開する満足感や学びを通じた自己の変容が可視化できるよう工夫されています。

次に、光村図書です。光村図書の優れた点は、児童自身が主人公となる個性的で自分らしい学びの実現が可能となることです。上巻 37 ページをご覧ください。絵本作家のヨシタケシンスケ氏の書き下ろしイラストが上下巻の教科書の随所に掲載されており、失敗しても、人と違っても、教科書どおりにいなくても、一人一人が安心して自分らしい学びを進めていくことができるというメッセージがユニークなイラストと言葉で表現されています。多様性を大切にした個性的な学びを、楽しく温かくサポートしています。また調査項目 1 に係ることとして、「ひろがるせいかつじてん」が別冊となっており、安全やマナー、生活習慣、学び方など、生活に関わるさまざまな知識・技能が個人の興味・関心

に応じて参照することができ、個別最適な活用が可能となっております。さらに、上巻 38 ページをご覧ください。調査項目 8 に係ることとして、左下に「保護者の皆さまへ」というコーナーが設けられており、家庭と学校をつないで学習活動を円滑に進め、充実させることができることも大変優れている点です。児童も保護者も教員も、手に取って繰り返し読みたくなる教科書です。

最後に、啓林館についてです。啓林館の優れた点は、学びのつながりと広がりが見えるということです。上巻 1 ページからご覧ください。幼児期に育まれた資質・能力を発揮しながら楽しく安心して学校生活を始めることができるよう、スタートカリキュラムが大変充実しています。また、下巻の巻末には「ステップブック」「みらいにむかって」の資料が掲載され、生活科で培った資質・能力を自覚するとともに、3 年生以降の学習への期待感を高め、自信と意欲を持って進級することができるよう工夫されています。また調査項目 2 に係ることとして、「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の 3 段階構成で単元の流れが分かりやすく示されていることも、生活科の学びのプロセスの充実につながると思います。

以上、6 者について説明させていただきました。

(選定委員長) ありがとうございます。では、委員の皆さま、ご質問等お願いいたします。いかがでしょうか。では、私の方から。

生活科は結構活動が多いと思うのですけれども、金沢の子どもらにも合ったような活動が割とやりやすいような教科書というのは、そういう側面からコメントを頂けないでしょうか。

(生活調査委員長) 活動がやりやすいという点では、どの教科書も工夫されておりました。

(選定委員長) 同じですか。

(生活調査委員長) はい。ただ、多様な活動を認めてもらえるというか、子どもたちのいろいろな考え方を受容的に受け入れるといった点では、光村図書の「こんなこともあるかもね」というコーナーが、子どもたちの活動とかつぶやきとか、実際にこんなことがありそうだなということが想起できるようで、非常に豊かな活動につながっていくのではないかなと考えます。

(選定委員長) ありがとうございます。委員の皆さん、いかがでしょうか。

(選定委員) 若い先生が低学年を担当して生活科を持つこともあると思うのですが、評価について関連する振り返りカードみたいなカードへの教師のコメントという点で、各者どのように評価されたか教えてください。

(生活調査委員長) 東京書籍では、児童が見方・考え方を生かしている姿を吹き出しやワークシートで非常にたくさん掲載しておりました。その中に、育成したい資質・能力が子どもたちの言葉で表されているものが大変多く見られたなと感じております。

また光村図書では、求められる資質・能力を最初のページのところで 14 種類に整理して、振り返りの観点とすることで子どもたちの思いやそういった気付きなどを促すような視点がはっきりと明記されております。このマークが単元の途中途中で明示されておまして、この単元ではこういった視点を大切にしながら子どもたちの活動や言葉を見取っていくのだよという指標がしっかりと示されておりました。大変助かると思います。

(選定委員長) よろしいでしょうか。他、いかがでしょうか。ご質問お願いいたします。では、私の方からもう一つ。調査項目の 6 番になりますけれども、低学年ですので中学

年、3年生、4年生あたりとのつながりという点での視点なのですが、もう少し横に、同じ1年生で他の教科とのつながりというのも、子どもにとっては学習する上で生活科などは非常に起点になりやすいかなということで、その辺で教科書によって何か違いはございますか。場合によっては、いい点とか。

(生活調査委員長) まとめてこんな教科とつながりがあるよというふうに示されている教科書もありましたし、単元の中にこれは国語のこういった活動が関連付けてあるよということが示されている教科書もありましたが、いずれも他教科との関連は非常に意識して作られているなと思いました。

(選定委員長) 特に差はないという感じですね。

(生活調査委員長) そうですね。

(選定委員長) ありがとうございます。皆さん、いかがでしょうか。お願いいたします。

(選定委員) 調査研究項目の5番なのですが、この現代的な諸課題への対応という視点は、生活の科目においてどういったものを現代的な諸課題として捉えられたかというのと、この項目だけの発行者も同等な評価かなと思うのですが、そのあたりの評価したポイントはどこでしょうか。

(生活調査委員長) 生活科については、例えば生物の多様性であるとか人間の多様性といったことは、どの教科書にも視点として表されていました。例えば車椅子の子どもが出ていたり、お年寄りとの関わりであったり、それからリサイクルやリユースといった視点もどの教科書にもほとんど網羅されておりましたので、特に差はないかなというふうに評価させていただきました。

(選定委員) 評価する点としてあった、言葉として多様性と出てきたので、そこが関連するかどうかという質問なのですけれども、光村図書で、先ほどの花の育ちがまちまちですよという話は、この項目には入ってくるわけではなくて、別の項目での評価という感じなのです。

(生活調査委員長) そういったことも、光村図書の「こんなこともあるかもね」というコーナーは本当に多様性にも関係しますし、SDGsの考え方にも関わるところが非常に多くて、どの項目で評価ということはちょっと位置付けが難しかったです。ただ、どの評価にも、どういった視点にも、関連性のあるようなこういったコーナーが設けられていて、子どもたちの多様な考えやこういったいろいろな姿があるのだねということはメッセージとして本当に伝わってくるので、どこに関係があるかと言えば全ての項目に関係があります。

(選定委員) この項目は、評価としてはこれはあつていいポイントだと理解してよろしいですか。

(生活調査委員長) はい、そうです。

(選定委員) ありがとうございます。

(選定委員長) よろしいでしょうか。他、いかがでしょうか。

(選定委員) 2者に限定してしまつてあれなのですが、光村図書について、ちょっと他とは違うなというふうに一見して思うのですが、特に別冊については調査委員会の中では

どのようなお話でしたか。

(生活調査委員長) 別冊については、例えばいろいろな道具の使い方であったり、それから植物や生物の育ちについて非常に分かりやすくまとめられているということ、子どもたちが観察したり飼育したりするときに、視点として設けやすいような資料が大変豊富にあるなどということを感じて評価いたしました。

(選定委員) あえて別冊にしなくてはいけないというふうに思われましたか。というのは、1年生、2年生ですから、なくしてしまう可能性も十分あると思うのです。しかも教科書ですから、いわゆる資料やドリルとはちょっと扱いが違うのかなと思ったときに、別冊にすると困難なことが起きかねないというふうにわれわれ現場としては思ったりもするのですが、その辺の評価はいかがでしたか。

(生活調査委員長) 確かになくす危険性はありますけれども、この別冊だけを持って観察に行くことも可能であると考えれば、子どもたちは非常にコンパクトな荷物で探検に行くことができるので、それもいいのではないかなと思いました。

(選定委員長) 一長一短あるという感じでしょうか。他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。では、調査委員長、ありがとうございました。ご退室ください。
<調査委員退室>

(選定委員長) そうしましたら、事務局から当該種目の資料 B、C、D について説明をお願いします。

(学校指導課長) 資料 B の 7 ページをご覧ください。教科用図書研究委員会の調査研究報告書です。東京書籍についてです。項目 4 と項目 5 で全発行者の中で 2 番目に多くの意見が挙げられております。項目 1 と項目 2 では 3 番目に多くの意見が挙げられております。意見の総数につきましては、全発行者の中で 2 番目に多くなっております。続きまして、大日本図書です。項目 2 で全発行者の中で最も多くの意見が挙げられており、項目 1 につきましては、全発行者の中で 2 番目、項目 3 は全発行者の中で 3 番目になります。意見の総数につきましては、全発行者の中で 3 番目に多くなっております。続きまして、学校図書です。項目 1 で全発行者の中で最も多くの意見が挙げられております。項目 5 では全発行者の中で 3 番目に多くなっております。続きまして、教育出版です。項目 3 で全発行者の中で最も多くの意見が挙げられております。続きまして、光村図書です。項目 5 で全発行者の中で最も多くの意見が挙げられており、項目 3 は全発行者の中で 2 番目、項目 4 は全発行者の中で 3 番目に多くなっております。意見の総数につきましては、全発行者の中で最も多くの意見が挙げられております。啓林館です。項目 2 と項目 4 で全発行者の中で最も多くの意見が挙げられております。

続きまして、資料 C の 2 ページをご覧ください。教科書展示会に寄せられた市民の意見のまとめについてです。左側の中段をご覧ください。市民からは、挿絵やイラスト、思考場面についてのご意見がありました。5 ページの右側上段をご覧ください。移動展示につきましては挿絵や写真についてのご意見がありました。以上です。

(選定委員長) ありがとうございます。それでは委員の皆さまから、修正等も含めたご意見等をお願いいたします。ご意見がなかったらご感想でもいいですので、何か選定に関わるような感想を含めて、関わらなくても、見られて、自分で調査された感想で結構ですが。お願いいたします。

(選定委員) 並べて見たときに、第一印象は光村図書だけずば抜けて惹かれるというか、何か教科書ではないみたいだなと思ったのです。いろいろ中を見ていっても、先ほど調査

委員長がおっしゃられたようないいポイント、いい工夫が随所に見られています。それが資料 B では、その他の特記事項の方に全部流れてしまっていて、正しい分類にできていないところがあるのではないかとというようなところが。先ほどの特にデザインの面で、他は教科書っぽけれど、これを見たら何か絵本みたいだなと思ったのですが、そういうデザインがしっかりできていて、この教科書を使う年代の子どもたちがすごく興味を持って開けそうだなというふうに思うのです。

そういうこととか、先ほどの多様性の話のようなところが、実際に委員長にご回答いただいた内容であれば、もう少し、例えば光村図書の現代的な諸課題のところにもそれが本当は流れていったのではないかと、いろいろ分類しづらいが故に評価の点として最終的な報告書に表れづらいうような特徴があるのではないかと、いろいろな思いがありました。そのあたり、具体的にここはこうと言いつらいのですが、非常に他と違う工夫がされているところがあるので、そういったところが評価されているかどうか若干不安な気がしました。

(選定委員長) 何か加えたらよい文言はありますか。あるいは今のご感想的なものは口頭での報告説明には入れさせていただきたいと思いますが。

(選定委員) 光村図書なのですが、下巻の 41 ページ、例えばなのですが、このページの左下の方に「楽しい毎日につなげよう」というふうに書いてあるのですが、いわゆる職業ではないキャリア教育みたいな、毎日を楽しく過ごすとか、希望を持って過ごすというのは、この光村図書の教科書が評価されるなというふうに感じています。ですので、例えば光村図書は、現代的な諸課題の対応ということでは、キャリア教育という言葉が適切かは分からないのですが、夢を持ってとかそういう感覚はあるのかなというふうに思いました。

(選定委員長) 例えば項目 5 に先ほどの意見を入れて他者より優れていることを表すことも可能とは思いますが。皆さん、いかがでしょうか。どのように表すかという部分はありますけれども。キャリア教育という言葉でしょうか。「将来の夢」というような表現の方が生活科なら妥当なのかもしれませんけど。そのような言葉を入れて、内容が充実しているという表現は可能かと思いますが、いかがですか。

(選定委員) 先ほど委員長もお話しされていましたが、こんなこともあるかもねということで、ちゃんとお世話していてもうまいかないときもあるよねとか、そういう視点も、他者にはあまりない視点なのかなというふうに感じています。全てがうまくいく人生、うまくいくことばかりではないので、こんな視点を低学年のうちから持つというのは大変優れているかなと思います。

(選定委員長) 生物多様性のような、多様性なのか、生物多様性なのか。本質みたいなものかもしれません。生きている限り死んでいきますよというところだと思うのですが、その評価は、口頭ではそういった表現、写真なども含めた部分で優れているということで付け加えさせていただいて、もし文章にしにくければ現代的な諸課題の部分で、選定委員会の方で文言を修正しましたと。その理由としてこういうご意見がありましたという表現は可能だと思うのですが、いかがでしょうか。

(選定副委員長) 現代的諸課題という調査項目 5 でも構わないと思いますし、可能性として発言しますと、項目 3 の児童の興味・関心、学びに向かう力や人間性などとも関わりがあるかなということを思いました。以上です。

(選定委員長) どういたしましょうか。項目 3 の方が自発的ですね。他は何かご意見ありますか。ちょっとひっくるめさせていただいて、そういうご意見もあったということで、入れる項目が、先ほどの委員のご感想、ご指摘の中にもありましたようにちょっと難しかったので、ここに反映させていただきましたということで、現代的な諸課題の中に、

文言というよりも言葉での説明で、他の発行者より優れていると評価した理由、根拠として説明させていただく方が多分、教育委員会の中でも理解していただける部分があるかなと思いますけれども。

(選定委員) 今のに関連して。資料Bの7ページを改めて見ると、その他の特記事項の数は「親しみやすさ」や「活用しやすい工夫」が多い。項目7に、このような要素が全部集約されてしまっているから、項目3に表れていないという見方をすれば、項目3のところにも「親しみやすい」というところが児童の興味・関心を生かしたことにつながるといふふうに、多分評価されているのではないかという読み方ができるのかなという気がしました。

(選定委員長) どういたしましょうか。その辺も含めて、他者より優れていることを口頭で説明するのでよろしいでしょうか。

(学校指導課長) そうしましたら、選定委員会では、教科用図書研究委員会がまとめた報告書において、光村図書の5番目の項目の親しみやすさというところに着目した場合に、調査研究報告書の中で3番目の項目の児童・生徒の興味・関心を生かしたということで、光村図書の方が他の発行者と比べても評価が高かったという捉え方で良かったでしょうか。

(選定委員長) はい。その辺は委員長に一任でよろしいでしょうか。今言っていた意見を、整理させていただいて、優れていたところを報告します。それが項目3番や5番に関わってくるけれども、どちらか区別できないし、場合によっては項目の7番のところに結構集約されてきた部分があるけれども。5番、3番のところが、調査委員会からあった内容というよりも、この選定委員会では評価が高かったというような感じの表現にさせていただこうと思います。委員の皆さんもそれでよろしいでしょうか。

<異議なし>

(選定委員長) ありがとうございます。他、ご意見やご感想も含めまして、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。そうしましたら、確認させていただきます。調査委員会の報告に対して、ただ今審議された内容について、先ほど言いました修正を加えさせていただきます。口頭での説明も含めてということになりますけれども。そして市民からの意見ですね。挿絵、イラスト、写真、そして試行場面などご意見がありましたけれども、それも傾聴して、「生活」における教科書採択の答申を作成したいと思いますけれども、よろしいでしょうか。

<異議なし>

(選定委員長) ありがとうございます。そうしましたら、6者ございますので、3者ほど選んで、こちらから選んでいきたいと思うのですが。評価が高かった発行者は、掲載順に行きますと東京書籍、教育出版、光村図書ということになるかと思うのですが、それでよろしいでしょうか。特にご異論ないようでしたら、その3者にさせていただきます。ありがとうございます。

3. 閉会・事務連絡

(選定委員長) 以上で今日準備されていた内容は終了ということになります。ありがとうございます。7種目、今日は審議させていただきました。ありがとうございます。本日審議された結果は、本選定委員会の答申として教育委員会へ提出していきたいと思っております。

明日の 26 日は国語、書写、算数、英語、音楽、道徳の 6 種目について審議いただく予定になっております。明日もどうぞよろしく願いいたします。それでは、司会を事務局の方にお返ししたいと思います。

(事務局) 委員の皆さま、長時間にわたり答申していただきまして、審議していただきまして、ありがとうございました。ただ今委員長からもお話がありましたように、第 3 回選定委員会は明日 26 日の 13 時から、本会場にて残りの 6 種目について審議していただきたいと思っております。明日もどうぞよろしく願いいたします。

以上をもちまして、第 2 回金沢市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会を終了します。お疲れさまでした。

(一同) お疲れさまでした。